

2026年度
2026 Academic Year

高知大学大学院 総合人間自然科学研究科
医科学専攻(修士課程)

学生募集要項

APPLICATION FOR ADMISSION TO THE MASTER'S COURSE IN STUDIES IN
MEDICAL SCIENCE GRADUATE SCHOOL OF INTEGRATED ARTS AND SCIENCES
KOCHI UNIVERSITY FOR APRIL 2026

(一般選抜・社会人特別選抜)



高 知 大 学

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
[一般選抜・社会人特別選抜]	
1 募集するコース及び募集人員	4
2 出願資格	4
3 出願資格についての注意	5
4 出願手続	5
5 選抜方法	8
(English) [ADMISSION FOR FEE-PAYING FOREIGN STUDENTS]	
1 Admission Capacity	10
2 Application Eligibility	10
3 Notes	11
4 Application Procedures	11
5 Selection Procedure	15
[合格者発表・入学手続等]	
1 合格者発表	16
2 入学手続等	16
(English) [Notification of Results and Admission Procedures]	
1 Notification of Results	17
2 Admission Procedures	17
[その他]	
1 障害等のある者の出願	18
2 奨学金	20
3 その他	20
(English) [Other Notes]	
1 Reasonable Accommodations for Students with Disabilities	21
2 Scholarships	23
3 Other Notes	23
医科学専攻の研究内容の概要	24
カリキュラム	29
長期履修学生制度について	30
専門実践教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座について	30
授業科目及び単位数	39
試験場案内 (Access to Oko Campus)	52

【別途ダウンロード書類】

- 入学願書・履歴事項
- 受験票・写真票
- 志望の動機
- 受験許可書
- 住所票
- 提出書類郵送あて名書き用紙
- 入学検定料払込用紙記入例

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

医科学専攻（修士課程）では、その目的に基づき、次のような学生を求めます。

医科学コース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

専門的な医科学の知識と経験を活かし、医療関連の研究教育施設、企業、病院などにおいて指導的な貢献を果たす意欲を有する。

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲、 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

公衆衛生学コース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

公衆衛生学の5基本領域である疫学、生物統計学、環境保健学、医療政策・医療管理学、行動科学の知識と技能を活かして、医療データ分析、地域医療、災害医療、国際保健を含めた公衆衛生の実務において指導的な貢献を果たす意欲を有する。

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲、 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

公衆衛生学コース（1年コース）

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

- ・中央行政機関、地方自治体等において、環境に起因する疾病の対策に取り組みたいと思っている人
- ・膨大な医療情報から、データサイエンティストとしての専門知識を活かして診断、治療、予後に関する実務及び研究に取り組みたいと思っている人
- ・臨床試験と臨床研究を専門的視点で実施するために必要な知識と技能を身に付けたいと思っている人
- ・地域医療・地域保健の現場で、社会との関わりを重視して、疾病の予防、診断、治療に取り組みたいと思っている人
- ・産業医、産業歯科医、産業看護職、産業衛生技術者等の産業保健スタッフとして、職場の疾病予防対策に従事したいと思っている人
- ・環境に起因する疾病の予防、診断、治療に関わる研究に従事したいと思っている人
- ・国際機関において、環境に起因する疾病の対策に取り組みたいと思っている人
- ・疫学的手法や電子化保健・医療データの解析手法の知識・技術を活かして、環境、食品、製薬や臨床検査機器関連企業等で活躍したいと思っている人
- ・電子化保健・医療データの解析手法や医療情報システムの知識を活かして、医療管理の分野で実務家として活躍したいと思っている人
- ・疫学的手法や電子化保健・医療データの解析手法、医療情報システムの知識を活かして、医療系IT企業で活躍したいと思っている人

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲、 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

ヘルスケアイノベーションコース

【知識・理解】

医科学に関連する自然科学ないし人文社会科学分野について、学士課程修了相当の基礎的な知識と文献読解力を有している。

【思考・判断】

既得の基礎知識をもとに、医科学のトピックスの概要を理解し、自らの研究課題を提案できる。

【関心・意欲、態度】

- ・医学、工学の知識、技術を深め、地方都市が抱えるヘルスケアの課題解決に役立つ新たな知見、革新的技術の創出及び人材育成に取り組む意欲がある人
- ・情報技術、人工知能、システムデザイン工学、リスクマネジメントなどの知識をベースに、デジタルトランスフォーメーションにより病院の機能改善、経営戦略、医療安全などに貢献する意欲がある人
- ・医療機関あるいは産学官などの異分野、多組織間の縦割り構造を超え、円滑な連携のキーパーソンとして活躍する意欲がある人
- ・ヘルスケアに関連するイノベーションやベンチャーの立ち上げ、企業での活躍をめざし、知的財産、経営、法規、規制等の専門的な知識を身につけて活躍したい意欲がある人

【技能・表現】

医科学に関する自らの興味について、口頭や文章によって簡潔かつ論理的に伝えることができる。

【入学者選抜方法と評価する能力】

一般選抜・社会人特別選抜

選抜方法	評価する能力			
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲、 態度	技能・表現
英語	◎	◎		
面接	◎	◎	◎	◎

※【入学者選抜方法と評価する能力】の表の◎は、当該能力の重要度またはそれを評価する比重・目安を示します。
(◎は必須・最重要点項目) なお、◎は配点の内訳とは直接関係はありません。

[一般選抜・社会人特別選抜]

1 募集するコース及び募集人員

コース	募集人員	備考
医科学 公衆衛生学 公衆衛生学（1年コース） ヘルスケアイノベーション	15人	1. 社会人特別選抜の募集人員を含みます。 2. <u>本専攻の募集人員(15人)に満たない、あるいは総合人間自然科学研究科（修士課程）の募集人員に満たない場合は、第2次・第3次募集を行うことがあります。第2次・第3次募集実施の有無・変更は、高知大学ホームページにてお知らせしますので、必ず確認してください。</u>

2 出願資格

【医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース】

次の各号のいずれかに該当する者とします。

ただし、外国人留学生については、外国の国籍を有する者で日本における在留資格が本学の入学に支障がない者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2026年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（「大学院及び大学の専攻科の入学に関し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者（昭和28年文部省告示第5号）」により指定された者）
【「独立行政法人水産大学校法による水産大学校を卒業した者」、「教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校もしくは幼稚園の教諭もしくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達した者」等】
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び2026年3月31日までに22歳に達する者

【公衆衛生学（1年コース）】

次の各号のいずれかに該当し、医師、歯科医師又は薬剤師として2年以上の実務経験（臨床研修期間を含む）を有する者とします。

ただし、外国人留学生については、外国の国籍を有する者で日本における在留資格が本学の入学に支障がない者とします。

- (1) 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の薬学を履修する課程を卒業した者
- (2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学）を修了した者

3 出願資格についての注意

(1) 出願資格の確認について

出願資格が(3)、(4)、(6)に該当する者は、事前に出願資格の確認を行いますので、出願前に医学部入試担当（メール：nys-web@kochi-u.ac.jp）へ、小学校から大学までの学校歴(入学・卒業年月)を送付してください。

出願資格が(8)に該当する者は、事前に出願資格の確認を行いますので、出願前に医学部入試担当（メール：nys-web@kochi-u.ac.jp）へ、高等学校以降の学校歴(入学・卒業年月、学部学科・研究科名等)を送付してください。

(2) 個別の入学資格審査について（「出願資格(9)」の該当者）

「出願資格(9)」に該当する者は、事前に入学者資格審査を行いますので、あらかじめ志望する指導教員に照会のうえ、必要書類を、第1次募集については2025年6月20日(金)までに、第2次募集については2025年9月18日(木)までに、第3次募集については2026年1月19日(月)までに提出してください。

「出願資格(9)」の入学資格審査に必要な書類
(ア) 入学資格認定申請書（本専攻所定の用紙） (イ) 履歴事項（本専攻所定の用紙） (ウ) 最終出身学校卒業（修了）証明書 (エ) 最終学校の成績証明書 (オ) 研究歴証明書（本専攻所定の用紙） (カ) 研究業績調書（本専攻所定の用紙） (キ) 返信用封筒：表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒 ※「本専攻所定の用紙」は、高知大学受験生サイト (https://nyusi.kochi-u.jp/daigakuin/shikakusihinsa) からダウンロードすること。 ※ 提出書類のうち日本語以外で作成されている場合は、日本語訳を添付すること。 ※ 証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。

(3) 社会人特別選抜について

総合人間自然科学研究科医科学専攻（修士課程）では、夜間その他特定の時期に授業・研究指導を行う教育方法の特例による「昼夜開講制」を導入し、この制度を基に、社会人の特別選抜を実施しています。
 [大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第14条に定める教育方法の特例を適用]

社会人特別選抜に出願することができる者は、前記2 出願資格のいずれかに該当する者で、医療機関、教育・研究機関、企業などに勤務している者又は入学直後に勤務することが見込まれる者で、入学後もその身分を有し、所属長の受験許可を得ることが可能な者としてします。

4 出願手続

(1) 出願期間

- 【第1次募集】 2025年7月22日(火)から7月24日(木)8時30分～17時《必着》
- 【第2次募集】 2025年10月20日(月)から10月22日(水)8時30分～17時《必着》
- 【第3次募集】 2026年2月16日(月)から2月18日(水)8時30分～17時《必着》

出願期間最終日の17時を必着としますので、郵送する場合は、郵便事情を十分考慮のうえ、余裕をもって発送してください。なお、出願期間前に到着したものは、受付初日に処理します。

(2) 出願方法

次の(3)に掲げる出願書類等を一括とりそろえ、角形2号の封筒に入れ、「提出書類郵送あて名書き用紙」に必要事項を記入のうえ、これを封筒に全面のり付けして、特定記録・速達郵便で所定の期間内に提出してくだ

さい。なお、本人が持参する場合も、必ず上記のように封筒を作成してください。
 出願書類の様式・提出書類郵送あて名書き用紙は高知大学受験生サイト
 (<https://nyusi.kochi-u.jp/daigakuin/admissions>) からダウンロードできます。

<出願書類提出先> 〒783-8505 なんこくし おこうちようこはす 南国市岡豊町小蓮
 高知大学医学部入試担当（電話 088-880-2295）

出願に際しては、必ず出願前に志望するコースの研究指導教員に連絡をとり、相談のうえ、出願してください。なお、相談は余裕を持って行ってください。

(3) 出願書類等

医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコースに出願する場合：①～⑨
 公衆衛生学コース（1年コース）に出願する場合：①～⑪
 英語資格・検定試験の公式認定証等を提出する場合は、上記に加え⑫

①	入学願書、履歴事項	本学ホームページ内の受験生サイト>大学院入試よりダウンロードし、作成してください。 在職中に一般選抜で出願する者は、履歴事項に退職予定日を記入すること。
②	受験票、写真票	本学ホームページ内の受験生サイト>大学院入試よりダウンロードし、作成してください。 写真票には出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽)を貼付すること。
③	成績証明書	最終出身学校の学長(学部長)が作成し、厳封したもの。 出願資格(9)の該当者は提出不要。 また、証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。
④	最終出身学校卒業(修了)(見込)証明書	出願資格(2)、(9)の該当者は提出不要。 また、証明書氏名に改姓等がある者は戸籍抄本等を添付すること。
⑤	志望の動機	本学ホームページ内の受験生サイト>大学院入試よりダウンロードし、作成してください。
⑥	受験許可書 (社会人特別選抜出願者のみ提出)	本学ホームページ内の受験生サイト>大学院入試よりダウンロードし、作成してください。
⑦	入学検定料30,000円 (振替払込請求書兼受領証のコピー)	郵便局・ゆうちょ銀行で郵便局指定の用紙を使用し、以下の口座に払い込んでください。「振替払込請求書兼受領証」(郵便局・ゆうちょ銀行で受付局日附印を押印してもらったもの)のコピーを提出すること。 (納入した入学検定料は、出願受付後においてはいかなる理由があっても返還しません。) 受取人口座名義：高知大学 指定金融機関：ゆうちょ銀行 振替口座 口座記号番号 01610-5-129391 ※通信欄に出願専攻名と出願者氏名を記入してください。 ※振り込みに要する手数料は、志願者のご負担となります。 ※振替払込請求書兼受領証の原本は本人控えとして保管ください。 ※大規模災害により被災し、入学検定料免除を希望される方は、必ず出願前に学務部入試課(088-844-8153)までご連絡ください。◀ 入学検定料免除に関する詳細はこちら → https://www.kochi-u.ac.jp/shinsai/ ▶
⑧	住所票	本学ホームページ内の受験生サイト>大学院入試よりダウンロードし、作成してください。 本学からの通知が確実に届く本人のあて先を記入すること。
⑨	受験票送付用封筒	表に住所・氏名を記入し、410円分の切手を貼付した長形3号(23.5cm×12cm)の封筒。(出願受付後、受験票の送付に使用します。)
⑩	医師免許証、歯科医師免許証又は薬剤師免許証のコピー	白黒可。A4サイズに縮小可。ただし、登録番号や氏名等が明確に確認できること。一部分のみや分割コピーは不可。

⑪	在職期間証明書又は臨床研修修了登録証のコピー	在職時の職名、勤務期間を証明できる書類。(任意様式) ※2年以上の実務経験(臨床研修期間含む)を確認するため。 勤務先が複数ある場合は2年以上を満たす直近のものでかまいません。	
⑫	英語資格・検定試験の公式認定証等	次の●のいずれかを提出すること。 「(4) 出願書類提出上の注意⑥英語資格・検定試験の公式認定証等について」を確認のこと。 <u>提出できない者は、学力試験(英語(TOEIC Listening & Reading IPテスト))を必ず受験すること。</u>	
		資格・検定	証明書類の名称
		●IELTS™	「成績証明書」(Test Report Form)
		●TOEFL iBT	「公式スコアレポート」 (Institutional Score Report / Official Score Report)
●TOEIC Listening & Reading 公開テスト	「デジタル公式認定証」 (Digital Official Score Certificate)の写し	「公式認定証」 (Official Score Certificate)	
<p><その他の必要書類></p> <p>1. 日本に在住する外国人にあつては、市町村長の発行する住民票の写し(国籍、在留資格、期間が記載されたもの)を上記書類に加え提出すること。</p> <p>2. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は、「学位記」の写し又は学位授与証明書を提出すること。なお、見込みの者は当該「修了見込み証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意)を提出すること。</p>			

(4) 出願書類提出上の注意

- ① 出願書類のうち一つでも不備のある場合には、出願は受け付けません。
- ② 出願受理後の出願書類の内容変更は認めません。ただし、連絡先の変更は速やかに本学医学部入試担当まで申し出てください。また、いったん受理した出願書類等は返還しません。
- ③ **出願書類のうち、日本語以外で作成されている場合は、日本語訳を添付してください。**
- ④ 入学後においても、出願書類の記載事項と事実が相違していることが判明した場合には、入学を取り消します。
- ⑤ 出願書類の受付後は、検定料及び出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 英語資格・検定試験の公式認定証等について
出願登録完了後に利用する試験又は成績証明書等の変更はできません。
また、原本の返却が必要な場合は、郵便番号、住所、氏名、「認定証等の原本返送用」及び簡易書留と表に朱書きした返送用の封筒(角型2号)に490円分の切手を貼り、願書他の出願書類と一緒に提出してください。

出願期間最終日までに、スコア証明書(原本)が高知大学に届かない場合は、学力試験(英語(TOEIC Listening & Reading IPテスト))を必ず受験すること。			
資格・検定	証明書類の名称	証明書の提出形態	出願時の注意事項
●IELTS™	「成績証明書」 (Test Report Form)	右記参照	・2024年4月以降に受験した IELTS™の「成績証明書」(Test Report Form)が、出願期間最終日までに実施機関から直接高知大学入試課に届くように事前に手続きをしてください。本学に届くまで日数がかかる場合があるので、早めに手続きを進めてください。 ただし、Academic Module に 限ります。

●TOEFL iBTテスト	「公式スコアレポート」 (Institutional Score Report /Official Score Report)	右記参照	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年4月以降に受験した TOEFL iBT テストの「公式スコアレポート」 (Institutional Score Report /Official Score Report) が、出願期間最終日までに ETS (Educational Testing Service) から直接高知大学入試課に届くように事前に手続をしてください。(手続から本学に届くまで2か月以上掛かる場合があるので、早めに手続を進めてください。) ・高知大学入試課 (Kochi University-Admission Division) の登録コード (DI Code) は2598です。学部別のコードはありません。
●TOEIC Listening & Reading 公開テスト	「デジタル公式認定証」 (Digital Official Score Certificate)	写し	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な受験期間は2024年4月以降のもの。 ・IIBC (TOEIC事務局) から発行された「TOEICデジタル公式認定証」を印刷したものを提出してください。
	「公式認定証」 (Official Score Certificate)	原本のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な受験期間は2024年4月以降のもの。 ・出願時に公式認定証の原本を提出してください。(コピーやWeb上からのダウンロードされた成績証明書は不可)。
	※認められないテスト種別 <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening & Reading 団体特別受験制度 (IP : Institutional Program、以下IPテスト)、 ・TOEIC Listening & Reading IPテスト (オンライン) ・TOEIC Speaking & Writing Tests IPテスト ・TOEIC Speaking & Writing IPテスト(オンライン) ・TOEIC Speaking Test、TOEIC Writing Test、TOEIC Bridge Tests 		

5 選抜方法

入学者の選抜は、英語、面接、志望の動機及び成績証明書を総合評価し、合格者を決定します。

(1) 学力試験等

期 日	試 験 科 目	時 間
【第1次募集】2025年8月19日(火) 【第2次募集】2025年11月30日(日) 【第3次募集】2026年3月11日(水)	英 語 TOEIC Listening & Reading IPテストを実施します (TOEIC Listening & Reading公開テスト等の公式認定証等を提出していない者)。	9 : 00 ~ 11 : 30
	面 接 (注)	

(注) 別日程で実施する場合があります。

(2) 受験上の注意事項

- ① TOEIC Listening & Reading Testについては、<https://www.iibc-global.org/toeic.html> を参照ください。
- ② 英語の試験室、面接の開始時刻・場所については、受験票発送時にお知らせします。
- ③ 試験場への道順、交通機関等については、「試験場案内」等で確認してください。
- ④ 各試験が終了するまでは退室できません。
- ⑤ 試験科目を全て受験しないと合格者となりません。
- ⑥ 試験説明開始から20分経過後の入室・受験は認められません。
- ⑦ 試験期間中は、受験票を必ず携帯してください。
- ⑧ 試験室内での携帯電話、電子機器類の使用は禁止します。それらの機器を試験室に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切っておいてください。
- ⑨ 監督者等の指示に従わないとき、又は不正行為をしたとき、若しくはしようとしたときは、失格とします。不正行為を行った場合は警察に被害届を出す場合があります。
- ⑩ 机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、腕時計（携帯電話・置時計・ストップウォッチ・ウェアラブル端末などは不可）のみです。その他のものは指定の場所に置いてください。
- ⑪ 追試験は実施しませんので、天候等により交通機関に影響が予想される場合は早めに移動してください。

(3) 試験場

高知大学医学部 なんこくし おこうちょうこはす（南国市岡豊町小蓮）

ADMISSION FOR FEE-PAYING FOREIGN STUDENTS

1. Admission Capacity

Course	Capacity
Medical Science Course Public Health Course Public Health Course (One Year Course) Healthcare Innovation Course	15

2. Application Eligibility

【Medical Science Course ・ Public Health Course】

Applicants must fulfill one of the following criteria.

- (1) Has graduated from a university or expects to graduate by March 2026.
- (2) Has received a bachelor's degree from the National Institute for Academic Degree and Quality Enhancement of Higher Education according to Article 104-7 of the School Education Law, or expects to complete the degree by March 2026.
- (3) Has completed, or expects to complete by March 2026, 16 years of education abroad.
- (4) Has completed, or expects to complete by March 2026, 16 years of correspondence education given by an institution abroad while residing in Japan.
- (5) Has completed, or expects to complete by March 2026, a course of study at a foreign educational institution in Japan which is equivalent to 16 years school education abroad, conforms to the educational system of the relevant country, and is accredited by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (6) Has completed or expects to complete a course of study of no less than 3 years at an approved foreign university or school – including distance education undertaken while residing in Japan and study at a foreign institution in Japan that is accredited as in criteria (5) – and has received or expects to receive a bachelor's degree or equivalent by March 2026. Approved foreign educational institutions are limited to those whose education and research programs have received a comprehensive evaluation from an entity certified by the relevant foreign government or governmental organization or from a body designated as equivalent by the Japanese Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.
- (7) Is completed on or after the day prescribed by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or expects to complete by March 2026, a specialized course of study at an advanced vocational school designated separately by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology (limited to those that meet the criteria prescribed by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, including that the minimum duration of studies be at least four years).
- (8) Is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology. (Is designated by “Those who are recognized as having at least the same academic ability as those who graduated from university upon admission to graduate school and university majors”; The Ministry of Education, Science, Sports and Culture Public Notice No. 5 of 1953).
- (9) Is over 22 years old or shall be 22 years old by March 31, 2026 and has an academic ability equivalent to or higher than that of a graduate from a university as determined in an academic review by the Graduate School of Integrated Arts and Sciences.

【Public Health Course (One Year Course)】

Applicants must fulfill one of the following criteria, and must have more than two years of working experience as doctor, dentist or pharmacist, including clinical residency.

- (1) Has graduated from a faculty of medicine, dentistry or pharmacy (6-year course).
- (2) Has completed, 18 years of education abroad. (The last course of study undertaken must be in medicine, dentistry or pharmacy).

3. Notes

(1) Those who wish to apply for admission under (3), (4), (6) or (8) above must obtain details of the procedure from the following office:

Kochi Medical School Admission Office
Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi 783-8505
Email: nys-web@kochi-u.ac.jp

(2) The Faculty Committee reviews the qualifications of those who wish to apply for admission under (9) above. The applicant should contact a professor of the desired department and then submit the documents listed below by Friday, June 20, 2025 (for first-entry admission), by Thursday, September 18, 2025 (for second-entry admission) or by Monday, January 19, 2026 (for third-entry admission).

Documents required for Confirmation of Qualification 2(9)
a) Application for confirmation of admission eligibility (use the prescribed form).
b) Curriculum vitae (use the prescribed form).
c) Official certificate of final graduation issued by the university or other educational institution attended.
d) Certified academic record from the university or other educational institutions attended.
e) List of research conducted by the applicant (use the prescribed form).
f) List of articles written by the applicant (use the prescribed form).
g) Stamped (¥410)* self-addressed envelope (23.5cm×12cm) . (※Charges may be revised). ※The“prescribed form for this department” must be downloaded from the Kochi University (https://nyusi.kochi-u.jp/daigakuin/shikakusihinsa). ※If any of the submitted documents are prepared in a language other than Japanese, a Japanese translation should be attached. ※Those who have changed their family name, etc. in the name on the certificate must attach their family register transcript, etc.

4. Application Procedures

(1) Application Filing Period

* For 1st entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from Tuesday, July 22, 2025 to Thursday, July 24, 2025.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, Thursday, July 24, 2025.

* For 2nd entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from Monday, October 20, 2025 to Wednesday, October 22, 2025.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, Wednesday, October 22, 2025.

*For 3rd entry admission.

The completed application forms must be presented to the Medical School Admission Office between 8:30 and 17:00, from Monday, February 16, 2026 to Wednesday, February 18, 2026.

If mailed, the application forms must reach the office by 17:00, Wednesday, February 18, 2026.

(2) Kochi Medical School Admission Office address

Kochi Medical School Admission Office
Kohasu, Oko-cho, Nankoku-city 783-8505
(Write “Application Forms” in red on the envelope.)

Applicants must contact their prospective academic adviser before applying.

(3) Application Documents

Medical Science Course • Public Health Course • Healthcare Innovation Course : 1~8

Public Health Course (One Year Course) : 1~10

Accreditation Certificate of Public Test, such as TOEIC Listening & Reading: 11

1	Application Form Curriculum Vitae	Please download the application form from the University's website for applicant (Admissions for Graduate Schools), print both sides of the form in A4 size, and fill in the form.
2	Entrance Examination Ticket Photograph Card	Please download the application form from the University's website for applicant (Admissions for Graduate Schools), print the form in A4 size, and fill in the form. On the Photograph Card, paste a photograph of your upper body and face, facing forward, and no hats, taken within the past third months (4 cm height and 3 cm width)
3	Academic Record	The applicant should provide in a sealed envelope his/her academic record issued by the president of the applicant's university or other educational institution (or dean of a graduate school). Those applying for admission under application eligibility (9) are not required to submit this certificate.
4	Certificate of (expected) completion from the school last attended	Those applying for admission under application eligibility (2) or (9) are not required to submit this certificate.
5	Objectives and ambitions	Please download the application form from the University's website for applicant (Admissions for Graduate Schools), print the form in A4 size, and fill in the form.
6	Entrance Examination Fee (¥30,000) (Photocopy of the post office payment form and receipt "振替払込請求書兼受領証")	Pay via the post office (JP) using the attached post office payment form to the below bank account. After payment, the post office issues a receipt with official stamp. Submit photocopy of that receipt. (The entrance examination fee will not be reimbursed, whatever the reason.) Account Name: 高知大学 (Kochi University) Designated Bank: ゆうちょ銀行 (JP Bank) Bank Account Number: 01610-5-129391 *Please put your name and the program you apply for in the column "通信欄". *It is the applicant's responsibility to bear charge related to transfer. *Please keep the original copy of payment form and receipt "振替払込請求書兼受領証"
7	Address Card	Please download the application form from the University's website for applicant (Admissions for Graduate Schools), print the form in A4 size, and fill in the form.
8	A stamped, self-addressed envelope	Write your name, contact address and postal code on the front side of a self-addressed no.3 rectangular envelope (23.5cm x 12cm) with 410 yen in postage attached. (※Charges may be revised).
9	Copy of either Doctor's, Dentist's or Pharmacist's License	Monochrome copy is fine. You can resize it to A4 print. The copy must clearly show license number, your name and other necessary information. It is NOT acceptable to submit partial copy or separate copies.
10	Certificate of Period of Employment or a copy of the certificate of clinical training completed registration	Submit a document certifying job title and period of employment in any format. This is to confirm more than two years of working experience, including clinical training. If you work in multiple workplaces, you can choose the most recent one that you have worked for more than two years.

11	Official score certificate of English proficiency test	Please submit any of the following documents. ※See (4) Notes on Application ⑥ official score certificates of English proficiency test. <u>If you cannot submit any of the above, you will be required to take English language proficiency test (TOEIC Listening & Reading IP test).</u>	
		Qualifications and Certifications	The name of certificate documents
		●IELTS™	Test Report Form
		●TOEFL iBT	Institutional Score Report /Official Score Report
		●TOEIC Listening & Reading Test	copy of the Digital Official Score Certificate Official Score Certificate
<p>1. International students who are residing in Japan must also submit a photocopy of a Certificate of Residence issued by local authorities, documenting their nationality, status of residence, and period of stay.</p> <p>2. Those who have conferred bachelor degree under application eligibility (2) are required to submit a copy of diploma or a certificate of degree conferral. Those who are expected to receive the degree are required to submit a certificate of expected completion and a certificate which proves you applied or intend to apply for bachelor degree conferral (style is optional) .</p>			

(4) Notes on Application

- ① The documents for application should be completed in full. Incomplete applications will not be accepted.
- ② The documents submitted for application will not be returned to the applicant and must not be modified or corrected in any way. However, any change in contact information must be reported immediately to the Admissions Office of the School of Medicine.
- ③ Any document written in a language other than Japanese is required to have an accompanying Japanese translation.
- ④ Should the information provided in the application documents being factually incorrect or should other improprieties be discovered in the documents submitted, the applicant will be deemed ineligible for the entrance examination and enrollment.
- ⑤ The application fee is not refundable under any circumstances. In addition, application documents will also not be returned.
- ⑥ Official score certificate of English proficiency test.
No changes can be made to the examinations or transcripts to be used after the application registration is completed. If you need to have the original copy returned later, please submit an envelope (24 mm x 332 mm size) to return with putting post stamp (JPY 490) when submitting all the application documents.
Please submit a self-addressed, stamped envelope (Type 2 of Square shape) with your name, address, and postal code, with “To return the original Certificate of Eligibility” and “Simplified Registered Mail” written in red on the front, along with the application form and other application documents.

If you cannot submit the (original) copy of score report or certificate to Kochi University admission office, please make sure to take TOEIC Listening & Reading IP Test.			
Qualifications and Certifications	The name of certificate documents	Format for submitting certificate	Notes
●IELTS™	Test Report Form	See right below	<ul style="list-style-type: none"> • Please make sure to complete administrative process to request test conducting organization to issue and send Test Report Form for the test you took after April 2024 directly to Kochi University-Admission Division, so that you can submit Test Report Form by the last day of application period. It may take some time to reach the University, so please proceed with the procedure as soon as possible. • Only “Academic Module” is valid for accreditation.
●TOEFL iBT Test	Institutional Score Report/ Official Score Report	See right below	<ul style="list-style-type: none"> • Please make sure to complete administrative process to request Educational Testing Service (hereinafter referred to as “ETS”) issue and send Official Score Report for the test you took after April 2024 directly to Kochi University-Admission Division beforehand, so that you can submit Official Score Report by the last day of application period (as it may take longer than 2 months for ETS to issue and send Official Score Report to Kochi University, please start the application as soon as possible). • Registration number (DI Code) of Kochi University-Admission Division is “2598”. All the faculties use the same code.
●TOEIC Listening & Reading Test	Digital Official Score Certificates	copy	<ul style="list-style-type: none"> • Date of exam must be after April 2024. • Submit the printed copy of the Digital Official Score Certificate of TOEIC Listening & Reading issued by IIBC (TOEIC Secretariat).
	Official Score Certificates	Original Copy	<ul style="list-style-type: none"> • Date of exam must be after April 2024. • Submit the original copy when applying for entrance exam (the photocopy or electronic copy is not valid).
<p>※Test types that are not allowed.</p> <ul style="list-style-type: none"> • TOEIC Listening & Reading IP Test • TOEIC Listening & Reading IP Test (online) • TOEIC Speaking & Writing Tests IP Test • TOEIC Speaking & Writing Tests IP Test (online) • TOEIC Speaking Test / TOEIC Writing Test / TOEIC Bridge Tests 			

5. Selection procedure

Evaluation of the applicant will be based on his/her entrance examination and academic record.

(1) Entrance examination

Date	Examination	Time
First-entry admission: Tuesday, August 19, 2025 Second-entry admission: Sunday, November 30, 2025 Third-entry admission: Wednesday, March 11, 2026	English TOEIC Listening & Reading IP Test (Those who have NOT submitted required type of English Language Certificate or score report of English proficiency test, including TOEIC Listening & Reading test.)	9:00 – 11:30
	Oral examination (※)	

(※) It is possible that we change the date of exam.

(2) Notes on the Examination

- ① For further information about TOEIC Listening & Reading Test, please refer to the website (<https://www.iibc-global.org/toeic.html>).
- ② Applicants will be notified of the examination room and time when they receive their examination ticket.
- ③ See “Access to Oko Campus” for the location of the examination center and the available public transportation.
- ④ Examinees are not permitted to leave the examination room while the examination is in progress.
- ⑤ All sections of the examination must be taken in order to pass.
- ⑥ Applicants are not permitted to enter the examination room later than 20 minutes after the explanation for the examination has started.
- ⑦ Applicants must have their Entrance Examination Tickets with them on the day of the examination.
- ⑧ Cell phones and other electric devices must be switched off during the examination.
- ⑨ You will be disqualified, if you do not follow instructions by proctors, cheat or try to cheat on the exam.
If you cheat on the exam, we may report to police as victim.
- ⑩ The following items are permitted on the desk: examination ticket, black pencils, automatic pencils (black), erasers, wrist watch (Cell phones, table clocks, stopwatches, wearable devices, etc. cannot be used as clocks.), All the other items must be left at the designated area.
- ⑪ Supplementary examinations will not be held.

(3) Examination Center

Kochi Medical School (Kohasu, Oko-cho, Nankoku-city)

[合格者発表・入学手続等]

1 合格者発表

- (1) 第1次募集については2025年9月4日(木)、第2次募集については2025年12月22日(月)、第3次募集については2026年3月23日(月)に、合格者本人あて(住所票に記載された場所)に合格通知書を特定封筒郵便(レターパックライト)で送付します。
- (2) ホームページ上でも合格者発表を行いますが、情報提供サービスの一環として行うものです。必ず合格通知書をもって確認してください。
高知大学受験生サイト <https://nyusi.kochi-u.jp/>
- (3) 電話等による問い合わせには一切応じません。

2 入学手続等

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。
なお、入学手続についての詳細は、合格通知書と同時に送付します。

(1) 手続期間

- 【第1次募集】 2025年9月9日(火)から9月11日(木)
- 【第2次募集】 2025年12月25日(木)から2026年1月6日(火)
- 【第3次募集】 2026年3月24日(火)から3月26日(木)

手続場所は医学部入試担当(講義棟1階)です。

持参の場合の受付時間は、8:30~17:00(土日・年末年始は除く)。

(2) 入学手続書類

- ① 宣誓書(本専攻所定の様式)
- ② 学資負担者届(本専攻所定の様式)
- ③ 住民票記載事項証明書(本専攻所定の様式)
- ④ 身上調書(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑤ 学生証交付願(本専攻所定の様式、縦4cm×横3cmの写真を貼付)
- ⑥ 最終出身学校の卒業(修了)証明書及び成績証明書(高知大学卒業生は不要)又は在学期間証明書(既に提出の場合は不要)
- ⑦-1 安全保障輸出管理に関する誓約書(本専攻所定の様式)
- ⑦-2 外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書(本専攻所定の様式)

(3) 入学料及び授業料(国費外国人留学生を除きます。)

入学料 282,000円

○ 注意事項

- 1) 入学料は、入学手続時に納入してください。
なお、授業料は、第1学期分は5月中、第2学期分は11月中に本学指定の金融機関からの口座引き落としとなります。(第1学期分267,900円(年額535,800円))
- 2) 入学料の免除又は徴収猶予を希望する者は、入学手続に先立って申し出てください。
なお、授業料についても免除制度及び徴収猶予制度があります。
入学料・授業料の納入後は、免除等申請ができません。
(問い合わせ先 = 高知大学医学部・病院事務部学生課学生支援係 電話 088-880-2268)
- 3) 納入した入学料は、入学手続完了後においてはいかなる理由があっても返還しません。
- 4) 入学料免除及び徴収猶予の申請者が、本学の入学手続きを完了した後に入学を辞退する場合は、ただちに入学料を納入していただくことになります。
- 5) 入学料及び授業料について改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

Notification of Results and Admission Procedures

1. Notification of Results

- (1) The Notification of Results will be sent to successful candidates on Thursday, September 4, 2025 (for 1st entry admission in April 2026), on Monday, December 22, 2025 (for 2nd entry admission in April 2026) or on Monday, March 23, 2026 (for 3rd entry admission in April 2026). In addition, all successful candidates will be notified by mail.
- (2) The list of successful candidates will be posted Kochi University website.
Although the list of successful candidates will be posted on the Kochi University website as part of our information service, the official notification of results will be posted by mail.
Website for Kochi University Examinee <https://nyusi.kochi-u.jp/>
- (3) No inquiries will be accepted by telephone or other means.

2. Admission Procedures

The documents required for admission will be sent to the successful candidates.

(1) Period of entrance registration

1st entry admission: From Tuesday, September 9, 2025 to Thursday, September 11, 2025

2nd entry admission: From Thursday, December 25, 2025 to Tuesday, January 6, 2026

3rd entry admission: From Tuesday, March 24, 2026 to Thursday, March 26, 2026

Place of entrance registration: Kochi Medical School Admission Office

If you wish to submit the documents in-person, please be noted that the business hours set between 8:30 am and 5:00 pm, except for weekend and national holidays.

(2) Documents Required

- ① Written Pledge (use the prescribed form*).
- ② Letter of Guarantee (use the prescribed form*).
- ③ Certificate of Residence.
- ④ Curriculum Vitae (use the prescribed form*; paste a 4×3cm photograph).
- ⑤ Application form for a student identification card (use the prescribed form*; paste a 4×3cm photograph).
- ⑥ Certificate of (expected) completion and Academic Record from the school last attended if it has not yet been submitted.
- ⑦-1 Pledge for Security Export Control (use the prescribed form)
- ⑦-2 Confirmation Letter regarding the Applicability of the Specific Categories for Compliance with Article 25 (1) and (2) of the Foreign Exchange and Foreign Trade Act (use the prescribed form) (only for those who have become a resident from a non-resident after 6 months have passed since entering Japan)

(3) Payment of entrance fee and tuition fee

Entrance fee: ¥282,000

- 1) The entrance fee should be paid at entrance registration.
The tuition fee should be paid by the end of May (for the first semester) or by the end of November (for the second semester). The tuition fee is charged directly to the student's post office account or bank account in one of the banks designated by Kochi University. (first semester ¥267,900 (¥535,800 for one year))
- 2) Those who wish to apply for exemption/deferment of the entrance and/or tuition fee must apply to the Student Support Group, Student Affairs Section, Medical School and Hospital Administration Department (Phone +81 - 88 - 880 - 2268) before paying the fees at entrance registration. Applications for exemption will not be accepted after payment of the entrance or tuition fee.
- 3) The entrance fee paid to the university is not refundable.
- 4) If an applicant for exemption/deferment of the entrance fee declines admission after being accepted, he/she must pay the entrance fee immediately.
- 5) If there is a change in the amount of the tuition fee during your course of study, you will be expected to pay the new fee.

[そ の 他]

1 障害等のある者の出願

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮及び修学上の支援を必要とする場合は、出願に先立ち、以下の方法により本学と事前相談を行うことが可能です。

なお、相談内容によっては、対応に時間を要する場合や対応できない場合もありますので、出願前のできるだけ早い時期に相談してください。

修学支援の方法や内容は、障害の種類や修学環境等によって異なりますが、少なくともどのような支援が必要になるかを把握しておくことで、入学後の対応をスムーズに進めることができます。本学では、障害学生の修学支援対応の準備時間はできるだけ多くあった方がよいとの観点から、出願前のできるだけ早い時期に、修学上の支援についてもご相談いただくことを推奨しています。

① 事前相談の時期

【第1次募集】 2025年6月20日(金)まで

【第2次募集】 2025年9月18日(木)まで

【第3次募集】 2026年1月19日(月)まで

※上記期限以降に理由が生じた場合や、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には期限以降でもご相談ください。

② 事前相談の方法

受験上の配慮・修学上の支援に関する事前相談の手順は、以下の1)～5)に従って進めてください。

※日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合についても、試験における配慮の必要上、必ず事前相談してください。

1) 電話もしくはメールによる相談等

具体的に本学の受験を考える前の段階でも、受験上の配慮については「③の1)」の連絡先で、修学上の支援については「③の2)」に記載のインクルージョン支援推進室で、随時、電話・メール等による相談を受け付けています。

2) 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」等の必要書類について

障害等のある入学志願者で、受験上の配慮を必要とする場合や、入学後、修学上の支援を希望する場合は、①による相談の上、本学で対応可能な措置や申請にあたり、以下の書類を準備してください。

- ・本学所定の「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」
- ・医師の診断書(可能な限り発行後3か月以内のもの)原本
- ・身体障害者手帳の写し(取得者のみ)

上記必要書類一式を、「① 事前相談の時期」までのできるだけ早い時期までに取り揃え、「③の1)」の連絡先まで提出してください。

※本学所定の様式は、高知大学受験生サイト(<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyo>)より、ダウンロードしてください。

(重複した障害や様式に明確にあてはまらない障害のある方は、障害等の状況を伝えやすい申請書様式を利用してください。)

提出書類一式は、ご自身にてコピーを取ることをお勧めします。

3) 「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」への文書による回答

「受験上の配慮・修学上の支援に関する申請書」をご提出いただくことにより、本学での対応について具体的な検討を開始します。進路選択の参考になるよう、出願時までには配慮・支援の内容を検討し、入試課から文書によって回答を発送します。内容によっては、出願時までには回答できない場合

や、必ずしも希望内容の全てに対応できない場合もありますので、ご了承ください。

4) 必要に応じて個別面談

必要に応じて、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等と直接面談を行います。

5) その他

「相談の期限」(①事前相談の時期 参照)以降に、受験上の配慮を要する理由が生じた場合は、期限以降でも「③の1)」の連絡先へご相談ください。また、受験後に修学上の支援について相談したいなどの場合には、「③の2)」に記載のインクルージョン支援推進室までご相談ください。修学上の支援が必要かどうかの意思確認を行い、必要であればその内容を一緒に考えますので、できるだけ早く連絡することを推奨します。

③ 連絡先

1) 高知大学医学部・病院事務部学生課入試室

なんこくしおこうちようこはす
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮
TEL 088-880-2295 FAX 088-880-2296

2) インクルージョン支援推進室に関する情報ならびに本学の障害者支援について

○高知大学学び創造センター学生支援部門 インクルージョン支援推進室
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号
TEL: 088-888-8037
E-mail: shugakushien@kochi-u.ac.jp
URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(参考)

※ 受験上の配慮の例

- ・自家用車での入構、駐車場の使用
- ・別室受験
- ・試験室をトイレ又は障害者用トイレの近くに設定
- ・座席を最前列、最後列、出入り口付近に設定
- ・介助者の試験室付近までの同伴、介助者控室の準備
- ・試験時間の延長
- ・車椅子、松葉杖の使用
- ・車椅子用機の準備
- ・補聴器の使用
- ・注意事項等の文書による伝達
- ・拡大鏡の使用
- ・問題冊子、解答用紙の拡大

※ 修学上の支援の例(全ての支援を確約するものではありません)

(これまでに行った支援の例)

- ・欠席時の代替課題
- ・授業内支援(ICレコーダー使用・指示内容視覚化・資料配付・途中退室許可)
- ・教室環境(換気、教室変更)
- ・移動支援(別移動手段)
- ・試験の別室受験・支援機器利用許可
- ・スケジュール管理サポート
- ・段差にスロープ設置

- ・教室に近い場所に送迎車の駐車スペース確保
(想定される支援の例)
- ・書類提出における介助者代筆許可
- ・聴覚障害等のある学生へのノートテイクなどの情報保障
- ・視覚障害のある学生への電子ファイルや点字・拡大資料提供
- ・リスニングが難しい学生についての他の形態の授業代替
- ・教育実習、病棟実習等の実習授業における実習施設の事前見学
- ・授業、講習、行事等での休憩の許可、休憩時間の延長許可

2 奨学金（外国人留学生を除きます。）

日本学生支援機構奨学生として選考のうえ、「大学院第一種奨学金」、大学院修士課程段階における「授業料後払い制度」、「大学院第二種奨学金」として貸与される奨学金があります。

<問い合わせ先>高知大学医学部・病院事務部学生課学生支援係（電話 088-880-2268）

3 その他

(1) 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」に基づき、本学入学者選抜に用いた個人情報については、入学手続、入学者選抜・修学等に係る調査・研究等及び修学に係る用途にのみ使用し、他の目的に利用、又は提供することはありません。

(2) 募集要項に関して不明な点は、医学部入試担当に照会してください。

<問い合わせ先> 〒783-8505 なんこくし おこうちようこはす
南国市岡豊町小蓮
高知大学医学部入試担当（電話 088-880-2295）

高知大学受験生サイト

<https://nyusi.kochi-u.jp/>

Other Notes

1. Reasonable Accommodations for Students with Disabilities

Applicants with disabilities who need reasonable accommodation for entrance exams as well as for the future education in Kochi University can request reasonable accommodation before application by the following steps. Since some testing accommodation requests will take time to be prepared, it is recommended that applicants with disabilities who request testing accommodation for entrance exam to contact us as early as possible.

Reasonable accommodation for applicants and students with disabilities depends on their disability conditions and the essential requirements of the curriculum. Therefore, prior understanding the disability conditions of applicants and students, as well as their requisite accommodation, helps to appropriately provide testing accommodation and reasonable accommodation after entering university. Kochi University recommends applicants with disabilities to consult with us as early as possible, even before the admission deadlines, because adequate preparation time will allow for appropriate and efficient accommodation for testing and educational settings.

① The period for prior consultation

1st entry Admission in April, 2026: Friday, June 20, 2025.

2nd entry Admission in April, 2026: Thursday, September 18, 2025.

3rd entry Admission in April, 2026: Monday, January 19, 2026.

When unavoidable circumstances happen before and after taking entrance exams, please feel free to consult with us even after the deadline.

② Flow of prior consultation

Prior consultation for testing accommodation for entrance exams and reasonable accommodation for future education in Kochi University will generally follow the steps from 1) to 5):

※ Applicants who use some assistive equipment for disabilities (e.g., hearing aid, cochlear implant, prosthetics, a walking stick, wheelchair) should consult with us. If there is no consultation, you may not be allowed to bring such equipment to entrance exams.

1) Consultation by phone or e-mail, etc.

Students with disabilities can consult with us anytime by phone, email, etc. even if they have not decided to take entrance exams. Please contact the relevant program 「③①」 for testing accommodation and 「③②」 for general information about reasonable accommodation.

2) Please prepare the “Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities” documents, and documents to prove your eligibility

Applicants with disabilities will be informed about documents required for applying for testing accommodations on entrance exams and reasonable accommodation for future education in Kochi University when you first contact us.

Documents required for applicants with disabilities are:

- Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities (There is designated format)
- Medical certificate from the doctor or disability certificate[※] or the copy of Japanese Physical Disability Certificate (*Shintai Shogaisha Techo*) or the copy of Japanese Mental Disability Certificate (*Seishin Shogaisha Hoken Fukushi Techo*)
- Other than the above, applicants with disabilities can submit documents which describe their disability condition in detail (e.g., opinions from parents and high school teachers).

※ Please submit a medical certificate from the doctor which is issued within three months, as a general rule.

Submit the Application for Testing Accommodation and Reasonable Accommodation for Disabilities

Please see the contact information below (i.e., ③①) and submit the documents 1), 2), as 3) if applicable, as early as possible before the deadline.

Download the form from the website: (<https://nyusi.kochi-u.jp/nyushi/hairyō>).

3) Letter about decision on requested testing accommodation and results of simulation on prospective reasonable accommodations in educational settings in Kochi University

Kochi University starts to consider and discuss appropriate accommodations after submission of request forms and documents. We will send an official letter about the decision on requested testing accommodation and results of simulation on prospective reasonable accommodations in educational settings in Kochi University by the admission deadlines. Therefore, applicants with disabilities can use our letter for admission. However, please understand that the requested accommodation which constitutes a fundamental alteration or undue hardship may not be accommodated.

4) There may be an interview if needed

To provide appropriate accommodation, detailed information about applicants' disability condition may be required. Therefore, we may conduct interviews with applicants and parents, if necessary.

5) Others

When unavoidable circumstances happen after the period of prior consultation, please feel free to consult with the Admission Office (i.e.,③の1)) even after the admission deadline. After taking entrance exams, if you have any consideration about reasonable accommodation, please contact with the Office for the promotion of inclusion and accessibility, Center for General Student Support (i.e.,③の2))

③ Contact Information

1) Kochi Medical School Admission Office

Kohasu Oko-cho Nankoku-city 783-8505

2) Reasonable Accommodation for Students with Disabilities

Disability Support Office, Center for Creative Learning Development

5-1, Akebono-cho, Kochi 780-8520

TEL: 088-888-8037

E-mail: shugakushien@kochi-u.ac.jp

URL: https://www.kochi-u.ac.jp/facilities/gakusei-shien/preuniversity_students/resources.html

(References)

Examples of reasonable accommodation for entrance exams

- Permission for entry by a car and preparation for parking space
- Using another room
- Setting testing room near from multi-purpose bathroom
- Arrangement for preferred seating
- Permission for entry of disability assistant and preparation for waiting room for them
- Extended time accommodation
- Permission for bringing assistive equipment in test settings such as wheelchair, cane, hiring aid, magnifying Reading Glass, etc
- Preparation for adjustable or large desk
- Notification of important information by written documents
- Preparation for test with bigger font

Examples of reasonable accommodation for education

(Experienced Reasonable Accommodation)

- Providing equivalent tasks for absence which caused by disabilities
- Accessibility support in class settings (e.g., Permission for using IC recorder, notification of important information by written documents, providing lecture notes, permission for entry-exit during class)
- Mobility support
- Using another testing room
- Permission for bringing assistive equipment in class settings

- Support for schedule management
 - Using portable wheelchair ramp
 - Preparation for parking space near the buildings
- (Possible Reasonable Accommodation)
- Permission for disability assistant to provide amanuensis
 - Realtime captioning
 - Providing slides or lecture note, and those with electronic data, braille or bigger font
 - Providing alternate test format instead of listening test
 - Pre-tour for educational and medical institutions for practical training course work
 - Permission for taking break during class and university events

2. Scholarships (Not applicable for international students)

3. Other Notes

(1) All personal information submitted to Kochi University and used for the selection of students is managed in compliance with the Act on the Protection of Personal Information. The personal information is used only for purposes of enrollment procedures, screening and admission. It is not used for any other purpose and will not be provided to third parties.

(2) Contact

Kochi Medical School Admission Office
Kohasu Oko-cho Nankoku-city 783-8505

<p>Website for Kochi University Examinee</p>
--

<https://nyusi.kochi-u.jp/>

医科学専攻の研究内容の概要

1 医科学コース

目的

近代医学は、生物学・物理学・化学・工学などの自然科学の進歩の成果を結集して発展してきました。さらに現代、医学はゲノムサイエンス・分子生物学・発生生物学（発生・分化・再生）などの生命科学の成果をもとに目覚ましいスピードで発展し、遺伝子療法・再生医療・生殖医療などの今日の先端医療を形成しつつあります。他方、先端医療の進歩による脳死・臓器移植・体外受精・遺伝子治療と生命倫理との調和、超高齢化社会の到来による疾病構造の変化、患者のQOL<Quality of Life（生活・生命の質）>の重視など、医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この急速に発展する医学・医療に的確に対応するためには、自然科学及び人間主体の人文科学と医学の調和を目指した医科学（Medical Science）の発展・充実が望まれます。このことにより、今後、ますます複雑化する医療・福祉などの社会的諸問題を包括的に捉えうる専門家の育成が可能となります。そのため、自然科学系学部（理学、農学、薬学、工学など）のみならず人文学系学部（心理学、社会学、経済学、教育学など）を含む医学部（医学科）以外の学部卒業者を、医科学へと導く教育・研究システムが必要です。

本医科学コースでは、原則として医学部（医学科）以外の出身者を対象に、医科学に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育することにより、高度に専門化した知識と技術を身に付けた医科学分野の研究者・教育者を養成し、さらに社会的諸問題について医科学を基礎として包括的に捉えうる人材を育成します。

[注]

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
中根 裕信	解剖学	○	○
村上 一郎	病理学	—	○
(未定)	病理学	—	—
山口 正洋	生理学	○	○
佐藤 隆幸	生理学	—	○
加部 泰明	生化学	○	○
麻生 悌二郎	遺伝子機能解析学	○	○
関 安孝	生体分子構造学	○	○
齊藤 源頭	薬理学	○	○
大畑 雅典	微生物学	○	○
(未定)	免疫学	—	—
古宮 淳一	法医学	—	○
菅沼 成文	医療学（予防医学・地域医療学分野）	○	○
安田 誠史	医療学（予防医学・地域医療学分野）	○	○
(未定)	医療学（医療管理学分野）	—	—
(未定)	医療学（連繋医工学分野）	—	—
山上 卓士	放射線診断・IVR学	—	○

[注] ○は、受け入れ可能講座等を表します。

主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。
研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

〔注〕

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
木村 智樹	放射線腫瘍学	—	○
河野 崇	麻酔科学・集中治療医学	—	○
内田 一茂	消化器内科学	—	○
宮地 英行	消化器内科学	○	○
(未定)	内分泌代謝・腎臓内科学	—	—
藤本 新平	内分泌代謝・腎臓内科学	○	○
上月 稔幸	呼吸器・アレルギー内科学	—	○
小島 研介	血液内科学	—	○
北岡 裕章	老年病・循環器内科学	—	○
松下 拓也	脳神経内科学	—	○
佐竹 悠良	腫瘍内科学	○	○
中井 浩三	皮膚科学	—	○
池田 真理子	小児思春期医学	○	○
(未定)	産科婦人科学	—	—
數井 裕光	神経精神科学	○	○
瀬尾 智	消化器外科学	—	○
増田 隆明	乳腺腫瘍外科学	○	○
三浦 友二郎	心臓血管外科学	—	○
田村 昌也	呼吸器外科学	—	○
池内 昌彦	整形外科学	—	○
井上 啓史	泌尿器科学	○	○
山城 健児	眼科学	—	○
手島 直則	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	○	○
上羽 哲也	脳神経外科学	○	○
(未定)	歯科口腔外科学	—	—
宮内 雅人	災害・救急医療学	—	○
山岸 由佳	臨床感染症学	—	○
浜田 幸宏	薬剤部	○	○
(未定)	医療学（予防医学・地域医療学分野）【総合診療部】	—	—
藤田 博一	医学教育	○	○
坂本 修士 津田 雅之	総合研究センター（分子生物学）	—	○

〔注〕 ○は、受け入れ可能講座等を表します。

主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

2 公衆衛生学コース

目的

公衆衛生学コースは、情報医科学コースと環境保健学コースを統合することで、独自の強みである医療情報のデータマイニングやICTによる医療情報システムの構築にも強い予防医学・地域医療学の専門家を養成し、ビッグデータの蓄積によりパラダイムシフトが求められている公衆衛生学分野の変革に対応できる専門人材の供給を目指しています。これに加えて、全国的に専門家が少なく、需要も高い生物統計家の養成、次世代シーケンサーの登場によって需要が急速に高まっているバイオインフォマティクスの養成を目指します。この分野について集中的に履修可能な情報医科学集中型カリキュラムを設定し、情報医科学の手法を生かしつつ、疫学、環境保健学、医療政策・医療経済などの方法論の必要な分野に適用できる専門性を習得します。

公衆衛生学コースのカリキュラムは、①疫学、②生物統計学、③医療政策学・医療管理学、④環境保健学、⑤社会医学、医倫理学、行動科学の、欧米の公衆衛生大学院での必須科目である5領域をカバーしており、修士（公衆衛生学）の学位を授与する国際基準（5つの方法論を必須科目とする履修）を満たしているのみならず、医療情報のデータマイニングやコンピュータを使った医療情報システムの構築で実績のある情報医科学コースが加わることで、ビッグデータの解析や医療管理及び医療情報のICT化にも対応できる予防医学・地域医療学の専門家を育成します。これまで本学では地域保健医療、家庭医療学、災害保健医療及び国際保健医療について重点項目として取り組んできており、この分野について集中的に履修する地域医療学集中型カリキュラムを選択可能にし、地域医療に重点を置きつつ、パブリックヘルスマインドを持つ医師を養成します。

〔注〕

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
菅沼 成文 SUGANUMA, Narufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Environmental Medicine	○	○
畠山 豊 HATAKEYAMA, Yutaka	医学情報センター Center of Medical Information Science	○※	○
安田 誠史 YASUDA, Nobufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Public Health	○	○
（未定）	医療学（医療管理学分野） Healthcare Management	—	—
（未定）	医療学（予防医学・地域医療学分野）【総合診療部】 General Medicine	—	—
藤田 博一 FUJITA, Hirokazu	医学教育 Medical Education	○	○
阿波谷敏英 AWATANI, Toshihide	家庭医療学 Family Medicine	○	○

〔注〕 ○は、受け入れ可能講座等を表します。

○※は、文系については経済学系大学院の修士課程で計量経済学、医療経済学などを専攻し、数学的基礎を身に付けた学生に限ります。

主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

研究指導教員が「（未定）」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

3 公衆衛生学コース(1年コース)

目的 医療・公衆衛生領域で活躍できる高度専門医療人を育成する。

医科学専攻公衆衛生学コースは2018年度から開設し、四国で唯一の修士（公衆衛生学）の学位を授与することができる教育体制を整えております。そうした教育環境、ノウハウを活用して、2年以上の実務経験を有する医師等を対象とした公衆衛生学コース（1年コース）を2020年度に開設しました。

パブリックヘルスマインドを持った医師等の人材が必要とされている職場は、日本中、世界中に数多く存在しています。学位として欧米のMaster of Public Health (MPH) に相当する修士（公衆衛生学）は、公衆衛生全般についてのスキルを習得したことを示すことができるため、将来、国際機関、外資系の企業、海外のNGO等で働くことを希望している医師等にとって、また、医療・公衆衛生領域を専門とする医師等にとって、即戦力であることを印象づけることができます。

公衆衛生学コースのカリキュラムは、既に単独で、①疫学、②生物統計学、③医療政策学・医療管理学、④環境保健学、⑤社会医学、医倫理学、行動科学、といった欧米の公衆衛生大学院での必須科目である5つの分野をカバーしており、修士（公衆衛生学）の学位を授与する国際基準（5つの方法論を必須科目とする履修）を満たしているのみならず、医療情報のデータマイニングやコンピュータを使った医療情報システムを構築した実績により、ビッグデータの解析や医療管理及び医療情報のICT化にも対応できる予防医学・地域医療学の専門家を育成します。

また、これまで本学では地域保健医療、家庭医療学、災害保健医療及び国際保健医療について重点項目として取り組んできており、この分野について集中的に履修する地域医療学集中型カリキュラムを選択可能にし、地域医療に重点を置きつつ、パブリックヘルスマインドを持つ医師等を育成します。

研究指導教員	所属講座等
菅沼 成文 SUGANUMA, Narufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Environmental Medicine
畠山 豊 HATAKEYAMA, Yutaka	医学情報センター Center of Medical Information Science
安田 誠史 YASUDA, Nobufumi	医療学（予防医学・地域医療学分野） Public Health
(未定)	医療学（医療管理学分野） Healthcare Management
(未定)	医療学（予防医学・地域医療学分野） 【総合診療部】 General Medicine
藤田 博一 FUJITA, Hirokazu	医学教育 Medical Education
(未定)	歯科口腔外科学
浜田 幸宏 HAMADA, Yukihiro	薬剤部
阿波谷 敏英 AWATANI, Toshihide	家庭医療学 Family Medicine

主たる研究内容については、www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。
研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

4 ヘルスケアイノベーションコース

目的

高齢化社会、医療過疎、大震災などの自然災害に加えて新型コロナウイルス感染が新たな脅威となり、今後の日本は「想定外の災禍と共生する高齢化地域社会」という課題と向かい合うことになります。必要となるのは、①平時から可能なかぎり健全な状態を維持すること、②次々と形を変えて到来する災禍に対応できる新たなワザやモノをそのつど創出していくことです。ヘルスケアイノベーションコースでは、「人と人の繋がり」をベースとして、医工学的な切り口でヘルスケアに関連したイノベーションを創出できる人材を育成します。一方、地域の中核としてこれらを担いつつ、高度医療も提供する大学病院では、ますます細分化された「縦割り」構造のため、本来持っている力を必ずしも十分発揮できていない現状があります。それに対し、領域横断的な視点で「壁に阻まれ埋蔵状態のリソース」を発掘し活用する役割を持つInnovative Resource Manager (IRM)を育成します。IRMは、インシデントなど医療安全の課題を解決し、縦割りによるムダを削って病院経営にプラスの効果をもたらす、埋蔵リソースから新たな価値を見いだすことに貢献します。

本コースでは、このような活躍をしたい、あるいはヘルスケア関連の企業やベンチャービジネスで能力を活かしたいという意欲のあるメディカルスタッフや工学系の若手を対象とします。まず医学、工学の基礎知識を身につけ、システムデザイン工学や人工知能、イノベーションや起業のノウハウを学び、さらに組織行動マネジメント、リスク・クライシスマネジメント、地域医療の課題、病院経営などの講義で知見を広めます。講師陣には、グローバル企業やベンチャーで起業されている方も含まれ、見方、考え方に大きな示唆を得るとともに、コース修了後の進路を考えるにあたって大いに参考になるでしょう。2年間で自分のテーマに関して研究開発を行い修了となりますが、その後医療施設、行政、起業などさまざまな分野での活躍が期待されます。

[注]

研究指導教員	所属講座等	文系	理系
佐藤 隆幸	生理学	—	○
菅沼 成文	医療学(予防医学・地域医療学分野)	○	○
(未定)	医療学(連繫医工学分野)	—	—
山上 卓士	放射線診断・IVR学	—	○
河野 崇	麻酔科学・集中治療医学	—	○
北岡 裕章	老年病・循環器内科学	—	○
數井 裕光	神経精神科学	○	○
池内 昌彦	整形外科	—	○
井上 啓史	泌尿器科学	○	○
手島 直則	耳鼻咽喉科頭頸部外科学	○	○
上羽 哲也	脳神経外科学	○	○

[注]○は、受け入れ可能講座等を表します。

主たる研究内容については、 www.kochi-u.ac.jp/kms/laboratories/ を参照ください。

研究指導教員が「(未定)」となっている講座等に、年度途中で教員が着任する場合があります。

カリキュラム

1 修了要件

医科学専攻に2年以上在学し、専攻の定める開設科目から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は課題研究（公衆衛生学コースのみ）に関する審査及び試験に在学中に合格することとします。ただし、在学期間に関しては、審査のうえ、優れた業績をあげたと認められる者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

ただし、**公衆衛生学コース（1年コース）**の修了要件は、本コースに1年以上在学し、専攻の定める開設科目から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文又は課題研究に関する審査及び試験に在学中に合格することとします。

研究指導においては、研究指導教員として本コースの指導教員の他、必要に応じて研究テーマに対応した他コースの教員も指導教員として学生の指導にあたり、個々の教員による個別指導と複数による合同指導を織り交ぜて進めます。

2 履修方法

共通科目 医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース18単位（必修） 公衆衛生学コース（1年コース）18単位（必修）
専門科目 ・医科学コース（医科学コース選択科目から12単位以上を履修する。） ・公衆衛生学コース（公衆衛生学コース選択科目から12単位以上を履修する。） ・公衆衛生学コース（1年コース）（公衆衛生学コース（1年コース）選択科目から12単位以上を履修する。） ・ヘルスケアイノベーションコース（コース別科目から必修科目10単位、選択科目2単位以上を履修する。）
計 30単位以上

3 授業科目

授業科目表を参照してください（科目名の「医科学特別研究」は個別のテーマに関する論文指導ではなく研究を遂行するための一般的能力育成を目指す内容を主体とする）。

4 社会人に関する授業の特例

医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコースは、現職者の強い生涯学習ニーズへの対応や多様な学習の機会を提供するために、大学院設置基準第14条の規定を活用した「昼夜開講制」を導入して、社会人特別選抜枠を設けて社会人に配慮します。また、コース横断的に開講される共通科目（必修科目）に関しては全てオンライン（同期型もしくは非同期型）で受講することができます。コース別の専門科目（選択科目）に関しては、各科目の特殊性に応じて授業の一部または全部をオンラインで受講することが出来る場合があります。

公衆衛生学コース（1年コース）は、社会人学生に教育及び研究等のできる環境整備を図るため、夜間開講や週末の集中講義等で実施します。また、授業科目によってはオンラインで受講することが出来ます。

いずれのコースも遠隔地（海外含む）居住者でも可能な限り、無理なく修学できる環境をオンラインによって実現できるよう工夫を行っておりますが、個別の科目のオンラインでの受講可否については、指導教員予定者を通じてあらかじめ確認をお願いします。

5 学位の授与

医科学コース・ヘルスケアイノベーションコースは修士（医科学）の学位が授与されます。

公衆衛生学コース・公衆衛生学コース（1年コース）は修士（公衆衛生学）の学位が授与されます。

長期履修学生制度について

総合人間自然科学研究科医科学専攻（修士課程）の修業年限は2年を標準とします。

職業を有している等の事情で履修可能な授業単位数や研究指導を受ける時間が制約され、標準修業年限の2年では十分な研究時間が確保できない可能性がある場合、又は、十分な履修時間・研究時間が確保できず2年を超えてしまえば授業料が余分にかかることになり、経済的に修学が困難になる可能性がある方のために、標準修業年限の2年を超えて計画的な履修を可能とした長期履修学生制度を実施しています。

この制度により授業料は、標準修業年限の2年間で支払うべき総額を、計画的な履修を認められた期間内で均等に分割して支払うこととなります。

また、この制度は、入学後の事情の急変（就職、転勤等）にも対応し、事情によっては、長期履修期間の変更（短縮、再延長）を認められることもあります。

この制度の適用を希望する場合は、申請書類により定められた期限までに申し込んでください。

<問い合わせ先>高知大学医学部・病院事務部 学生課大学院係（電話 088-880-2263）

専門実践教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座について

※ 以下の情報は、令和7年3月時点のものです。ハローワークで申請されようとする際に制度が変更している可能性もあります。申請を希望される方は、各自で必ず【厚生労働省ホームページ及び最寄りのハローワーク】で確認するようにしてください。

※ この専門実践教育訓練給付制度に申請する場合は、高知大学の「長期履修制度」は利用できません（2年間で修了することが前提です）。

労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、その費用の一部が支給される制度です（一定年数の間、雇用保険の被保険者であること等、厚生労働省が定める条件を確認してください）。

対象となる教育訓練は、そのレベルなどに応じて3種類（専門実践教育訓練、特定一般教育訓練、一般教育訓練）があり、それぞれ給付率が異なります。

高知大学大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻で、専門実践教育訓練厚生労働大臣指定講座に指定されているコースは以下のとおりです。

「ヘルスケアイノベーションコース（文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」指定講座）」

入学前に必要なハローワークでの手続きとして、受講開始日（4月1日）の2週間前までに、ハローワークで「訓練前キャリアコンサルティング」と「受給資格確認」が必要です。これらは、入学試験合格通知受領前から手続きできますので、本制度の利用を検討している方は、早めに次ページ以降を確認したうえで、必ず最寄りのハローワークにご相談ください。

手続き完了後、ハローワークから交付される教育訓練給付制度にかかる「受給資格者証（両面）」の写しを入学後オリエンテーション時にご提出ください。

キャリアアップ・キャリアチェンジを目指す労働者の皆さまへ 教育訓練給付制度のご案内

教育訓練給付とは？

労働者の主体的なスキルアップを支援するため、厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講・修了した方に対し、その費用の一部が支給される制度です。

対象となる教育訓練は、そのレベルなどに応じて3種類があり、それぞれ給付率が異なります。

対象講座

対象の教育訓練は、**約16,000講座**。

具体的な講座は、**教育訓練給付制度 [検索システム]** で検索できます。



オンラインで受講できる講座や、夜間・土日に受講できる講座もあり、働きながら受講することができます。

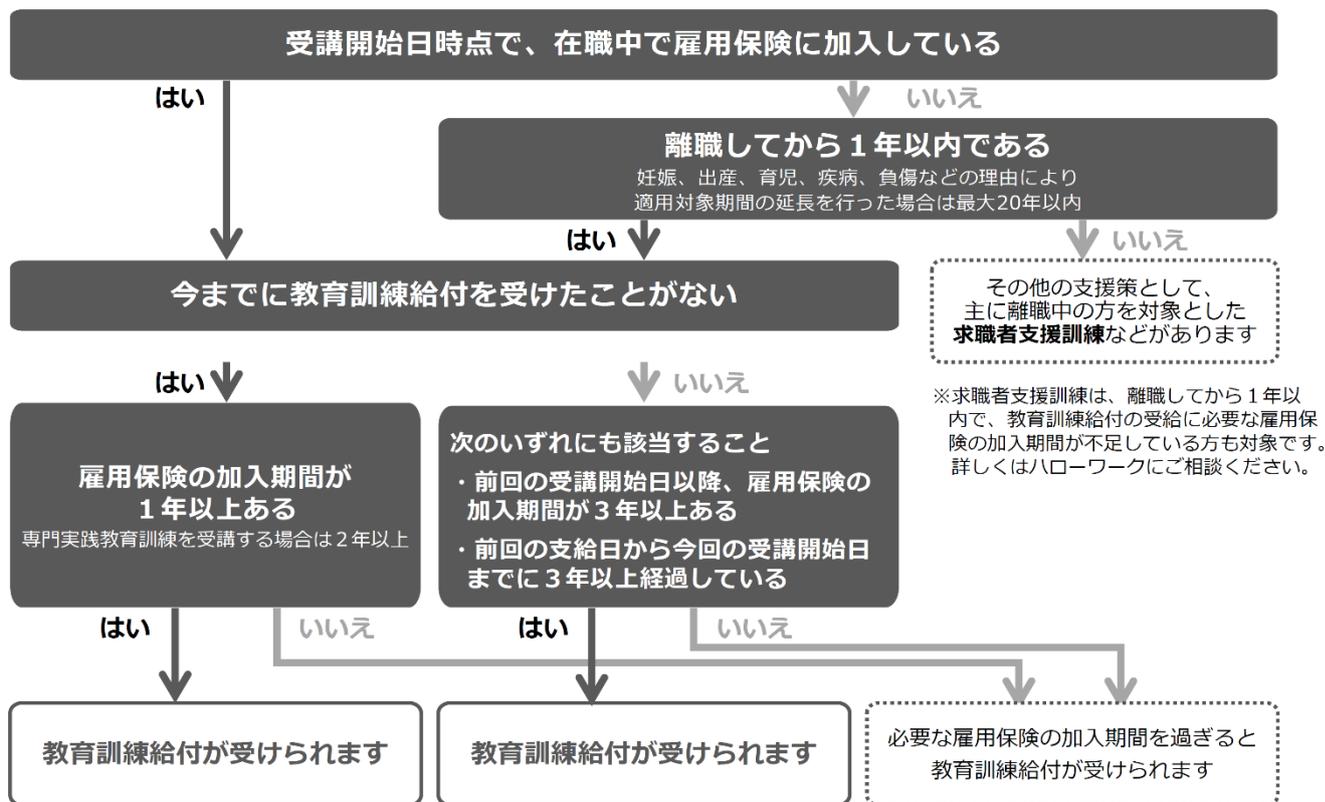
教育訓練 検索 検索

教育訓練の種類と給付率	対象講座の例
専門実践教育訓練 最大で受講費用の 80% [年間上限64万円] を受講者に支給 ※2024年9月までに受講開始した場合 最大で受講費用の70% (年間上限56万円)を支給	業務独占資格などの取得を目標とする講座 ・介護福祉士、看護師・准看護師、美容師、社会福祉士、 歯科衛生士、保育士、調理師、精神保健福祉士、はり師 など デジタル関係の講座 ・第四次産業革命スキル習得講座（経済産業大臣認定） ・ITSSレベル3以上の情報通信技術関係資格の取得を目標とする講座 大学院・大学・短期大学・高等専門学校の課程 ・専門職大学院の課程（MBA、法科大学院、教職大学院 など） ・ 職業実践力育成プログラム（文部科学大臣認定） など 専門学校の課程 ・職業実践専門課程（文部科学大臣認定） ・キャリア形成促進プログラム（文部科学大臣認定）
特定一般教育訓練 最大で受講費用の 50% [上限25万円] を受講者に支給 ※2024年9月までに受講開始した場合 受講費用の40% (上限20万円)を支給	業務独占資格などの取得を目標とする講座 ・介護支援専門員実務研修、介護職員初任者研修、特定行為研修、 大型自動車第一種・第二種免許 など デジタル関係の講座 ・ITSSレベル2の情報通信技術関係資格の取得を目標とする講座 大学等、専門学校の課程 ・短時間の職業実践力育成プログラム（文部科学大臣認定） ・短時間のキャリア形成促進プログラム（文部科学大臣認定）
一般教育訓練 受講費用の 20% [上限10万円] を受講者に支給	資格の取得を目標とする講座 ・輸送・機械運転関係（大型自動車、建設機械運転等）、 介護福祉士実務者養成研修、介護職員初任者研修、税理士、 社会保険労務士、Webクリエイター、CAD利用技術者試験、 TOEIC、簿記検定、宅地建物取引士 など 大学院などの課程 ・修士・博士の学位などの取得を目標とする課程

給付条件

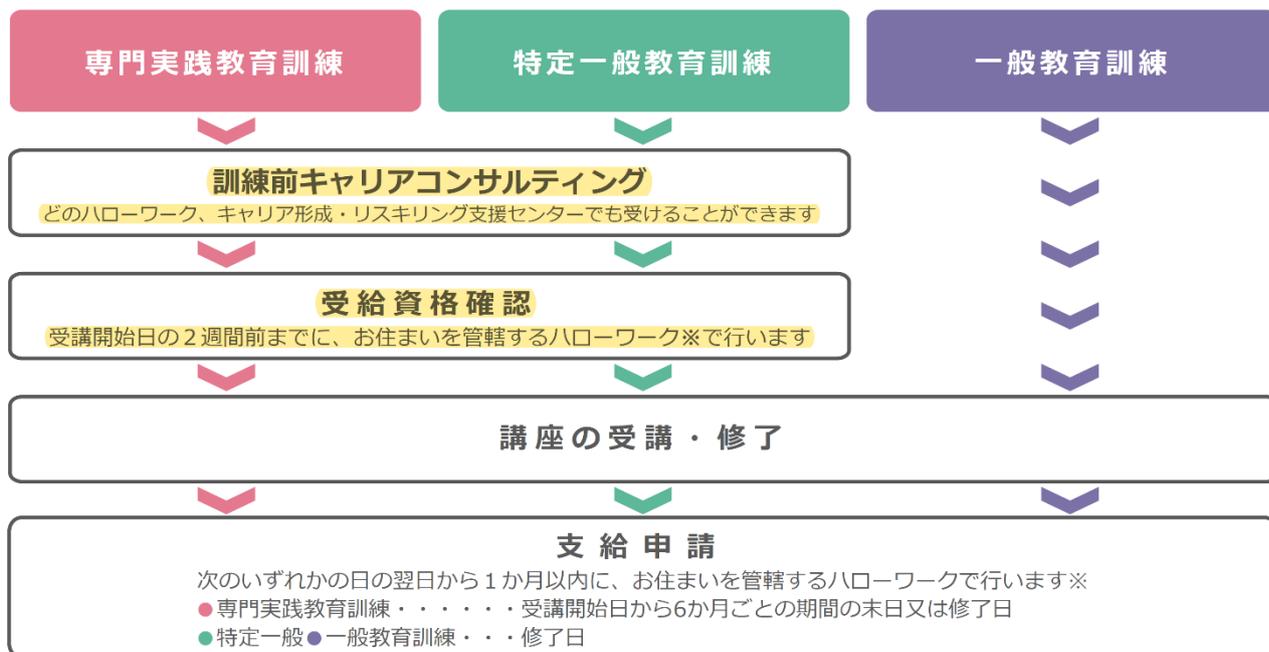
教育訓練給付を受けるには、雇用保険の加入期間などの条件があります。

パート・アルバイトや派遣労働者の方も対象です。



➡ ハローワークで支給要件照会の手続きをすると、給付が受けられるかどうかをより詳しく調べることができます。

給付手続き



※ 「e-Gov電子申請 (<https://shinsei.e-gov.go.jp/>)」から電子申請も可能です。

お問い合わせ

給付条件や手続きの詳細な内容は、お住まいを管轄するハローワークにお問い合わせください。

厚生労働省ホームページ（教育訓練給付制度について）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html



専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	高知大学大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻ヘルスケアイノベーションコース			
実施方法	① 通学（昼間 夜間 土日 ） ② 通信 スクーリング(回数 回)			
指定講座番号(15桁)	3910014	—	2510011	— 4
講座の創設年月日 令和3年4月1日	専門実践教育訓練給付金対象講座の指定期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日まで	過去一年の講座実績	入講者数(5人)	修了者数 (8人)
訓練期間	24ヶ月	総訓練時間	338時間	
1. 教育訓練目標				
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input checked="" type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム (医療介護分野) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 修士(医科学)			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	高知大学大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	2年以上在学して、必修科目28単位、選択科目2単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格すること。			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	ヘルスケア関連企業やベンチャービジネスで能力を活かしたい意欲のあるメディカルスタッフ(医療技術者、薬剤師、保健師)や工学系の若手に加え、管理的職業、その他の職業であって、自己涵養、課題解決能力向上を目指す者も対象となる。			
2. 教育訓練の内容				
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名		
(添付資料1)教育訓練内容カリキュラム(時間数)表のとおり				
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)				
①受講するに当たって必要な実務経験等	必須にしていない			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	学校教育法第102条に規定する大学院に入学することができる者及び大学院が認める者(募集要項出願資格参照)			
③その他	特になし			

〔特記事項〕

令和7年4月1日から初めて専門実践教育訓練指定講座となり受講修了者等からの具体的な評価はこれから収集され、充実する予定です。

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	8	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	—	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	8	人	受験率(③/②)	100.0	%
④ ③のうち合格者数	8	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	8	人	就職・在職率(⑤+⑥/①)	—	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。
この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	4 人				
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	初年度のため 本項目での アンケートは 未実施	②A: 就業者計 <input type="text"/>		
	2 非正社員、派遣社員				
	3 その他の就業(自営業等)				
	4 非就業				
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	初年度のため 本項目での アンケートは 未実施	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) <input type="text"/>		
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)				
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない				
④ 受講後の就業形態	1 正社員	初年度のため 本項目での アンケートは 未実施	④A: 就業者計 <input type="text"/>		
	2 非正社員、派遣社員				
	3 その他の就業(自営業等)				
	4 非就業者				
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	初年度のため 本項目での アンケートは 未実施	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) <input type="text"/>		
	2 1割以上3割未満増加した				
	3 1割未満増加した				
	4 変わらない				
	5 1割未満減少した				
	6 1割以上3割未満減少した				
	7 3割以上減少した				
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	初年度のため 本項目での アンケートは 未実施	⑥の回答数合計 <input type="text"/>		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる				
	3 社内外の評価が高まる				
	4 早期に転職・再就職できる				
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる				
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる				
	7 趣味・教養に役立つ				
	8 その他の効果				
	9 特に効果はない				
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	初年度のため 本項目での アンケートは 未実施	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) <input type="text"/>		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した				
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した				
	4 就職していない				
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	2	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) <input type="text"/>	
	2 おおむね満足	2	人		
	3 どちらとも言えない	0	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 (通信制講座の場合)	「学習意欲・授業参加度」に加え「レポート」による総合評価
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	該当なし

専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

6. 受講効果の把握方法																
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	全ての科目を通年科目で開講しているため、6か月ごとの科目の試験やレポート提出ではなく、年度末に各科目の評価を行っている。その場合の評価は、試験ではなくレポート等を主な評価方法として使用する。したがって、第1学期の認定基準は出席率を確認し、第2学期の認定基準はレポート等を加味して行う。															
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	「学習意欲・授業参加度」に加え「レポート」による総合評価															
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	各科目は、「学習意欲・授業参加度」に加え「レポート」による総合評価の結果、単位修得となり、必修科目28単位、選択科目2単位以上の合計30単位以上を修得することにより修士論文の審査及び試験に望むことができる。															
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	必修科目28単位、選択科目2単位以上の合計30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文についての研究の成果の審査及び試験に合格すること。															
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	指導教員を入学時に決定し、日ごろの研究指導に加え特別研究科目で研究のジェネリックスキルを学ぶ。必要に応じて副指導教員や研究指導補助教員をつけることができ複数の教員で助言指導できる仕組みがある。															
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 <small>(例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)</small>	本コースは主としてすでに資格をもって就業している社会人を対象とした大学院であるため、新規就職への直接的な支援はしていないが、指導教員等によるアドバイスに加え、本学の就職室を利用することができる。															
8. その他の事項																
指定教育訓練実施者名及び代表者名	国立大学法人 高知大学		(代表者名: 受田 浩之)													
住所及び連絡先	高知県高知市曙町二丁目5番1号		TEL 088-844-0111													
施設名称及び施設長名	高知大学大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻		(施設長: 井上 啓史)													
住所及び連絡先	高知県南国市岡豊町小蓮(岡豊キャンパス)		TEL 088-880-2263													
苦情受付者	氏名 刈谷 正志 所属 学生課	事務担当者	氏名 岡本 依里 所属 学生課													
連絡先	TEL 088-880-2798	連絡先	TEL 088-880-2577													
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,353,600 円													
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	282,000 円													
	② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	円													
③ 両方可	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">第1期</td> <td style="text-align: right;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第2期</td> <td style="text-align: right;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第3期</td> <td style="text-align: right;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第4期</td> <td style="text-align: right;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第5期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第6期</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">(うち、必須教材費 0 円)</td> </tr> </table>		第1期	267,900 円	第2期	267,900 円	第3期	267,900 円	第4期	267,900 円	第5期	円	第6期	円	(うち、必須教材費 0 円)	
第1期	267,900 円															
第2期	267,900 円															
第3期	267,900 円															
第4期	267,900 円															
第5期	円															
第6期	円															
(うち、必須教材費 0 円)																
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		0 円													
	① 任意の教材費(税込額)		0 円													
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円													
	③ 施設維持費(税込額)		0 円													
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)		0 円													
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,353,600 円													

(添付書類1)ヘルスケアイノベーションコース教育訓練の内容(カリキュラム)

【ヘルスケアイノベーションコース】

科目区分	授業科目	英文科目名	修得条件	年次	単位数	時間数		
専攻共通科目	医学英語	Medical English	必修	1	1	11.25		
	研究者と診療の科学(臨床医学概論)	Clinical Investigation and Medical Science (Introduction of Clinical Medicine)	必修	1	2	22.5		
	人体の構造と発生(人体形態学)	Human Anatomy	必修	1	1	11.25		
	人体の正常の生命過程(人体機能学)	Human Physiology	必修	1	1	11.25		
	疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理病態学)	The Pathogenesis, Pathology and Clinical Features of the Diseases	必修	1	1	11.25		
	社会・環境と医学(社会医学)	Social Medicine	必修	1	1	11.25		
	医科学における心と倫理	Mind and Ethics in Medical Science	必修	1	1	11.25		
	特別研究科目	医科学特別研究(研究計画立案)	Research of Medical Science (Knowledge and Thinking Skills)	必修	1・2	2	22.5	
		医科学特別研究(実験・調査)	Research of Medical Science (Practical Skills)	必修	1・2	2	22.5	
		医科学特別研究(ゼミナール)	Research of Medical Science (Seminar Skills)	必修	1・2	2	22.5	
		医科学特別研究(論文作成)	Research of Medical Science (Writing Skills)	必修	1・2	2	22.5	
		医科学特別研究(研究発表)	Research of Medical Science (Presentation Skills)	必修	1・2	2	22.5	
	コース別科目	基礎科目	医用工学	medical engineering	必修	1	1	11.25
			医療統計学・データマイニング	medical statistics / data mining	必修	1	1	11.25
医工学科目		医用システムデザイン工学	system design engineering for medicine	必修	1	1	11.25	
		イノベーション・レギュラトリーサイエンス	innovation / regulatory science	必修	1	1	11.25	
		医用画像工学・人工知能	medical imaging technology / artificial intelligence	必修	1	1	11.25	
		アントレプレナーシップ	entrepreneurship	必修	1	1	11.25	
		組織行動マネジメント・リーダーシップ	organizational behavior management / leadership	必修	1	1	11.25	
		ロジカルシンキング・デザインシンキング	logical thinking / design thinking	必修	1	1	11.25	
コース別科目		リスクマネジメント・クライシスマネジメント	risk management / crisis management	必修	1	1	11.25	
		地域社会レジリエンス・地域医療エンパワメント	resilience in community / empowerment in community medicine	必修	1	1	11.25	

応用 関連 科目	医療政策・医療経済学	Health Policy and Health Economics	左記 5科目 から 2単位 以上	1	2	22.5
	フィールド調査:理論と実践	Field Study: Principle and Practice		1	2	22.5
	病院経営学講義	Lecture of Hospital Management		1	2	22.5
	病院経営学演習	Practice of Hospital Management		1	2	22.5
	高齢期の健康生活と医学研究	Health and Medical Research in the Elderly		2	2	22.5
			合計	30	337.5	
			修了要件	単位	時間数	

教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

(1) 専門実践教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練経費とは、受講者が自らの名において直接専門実践教育訓練実施者に対して支払った教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料に限られます。

(2) 受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。

(3) 現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付（一つの講座について、クリアファイル等の総額千円未満の安価な物品等を付与する場合は除く。）その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。

このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。

なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

(4) 専門実践教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、修了した場合支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、修了等した場合には、専門実践教育訓練給付金は支給されません。

また、当該教育訓練の定期的な試験又は修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあつては、当該教育訓練を修了する見込みがあるもの又は修了したものとは認められていませんので、専門実践教育訓練給付金の支給を受けることはできません。

授業科目及び単位数

医科学コース

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態		
			必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語	1	1		○		
	医科学特別研究(研究計画立案)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(実験・調査)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(ゼミナール)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(論文作成)	1・2	2			○	
	医科学特別研究(研究発表)	1・2	2			○	
	研究者と診療の科学(臨床医学概論) *	1	2		○		
	人体の構造と発生(人体形態学) *	1	1		○		
	人体の正常の生命過程(人体機能学) *	1	1		○		
	疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理病態学) *	1	1		○		
	社会・環境と医学(社会医学) *	1	1		○		
	医科学における心と倫理 *	1	1		○		
選択科目	分子から見た医学と医療	1		2	○		
	生体防御のしくみ	1		2	○		
	循環から見た医学と医療	1		2	○		
	腫瘍の発生・増殖と制御	1		2	○		
	神経の科学	1		2	○		
	誕生・発育と加齢の科学	2		2	○		
	病理・法医学見学実習	1		2			○
	臨床実習	1		2			○
	臨床感染症学	1		2	○		
	診断と治療選択	2		2	○		
	再生・機能回復医学	2		2	○		
	資源と生命	2		2	○		
	ケミカルバイオロジー解析による基礎医学	1		2	○		
	環境保健学	1		2	○		
	環境科学測定	1		1	○		
	産業保健学Ⅰ	1		2	①	①	
	産業保健学Ⅱ	1		2	①	①	
	産業保健実践	1		1	○		
	疫学	1		2	○		
	医療政策・医療経済学 *	1		2	○		
	高齢期の健康生活と医学研究 *	2		2	○		
	生活機能の障害と医療・福祉 *	2		2	○		
医療管理 *	1		2	○			
海洋生物資源による免疫応答調節 *	1		2	○			
生命環境学入門 *	1		2	○			

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。

※科目名の * は開放科目を示す。

公衆衛生学コース

科目区分	授業科目の名称	領域略称	修得条件	配当年次	単位数		授業形態		
					必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語		必修	1	1		○		
	医科学特別研究(研究計画立案)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(実験・調査)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(ゼミナール)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(論文作成・課題研究)		必修	1・2	2			○	
	医科学特別研究(研究発表)		必修	1・2	2			○	
	研究者と診療の科学(臨床医学概論) *		必修	1	2		○		
	人体の構造と発生(人体形態学) *		必修	1	1		○		
	人体の正常の生命過程(人体機能学) *		必修	1	1		○		
	疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理病態学) *		必修	1	1		○		
	社会・環境と医学(社会医学) *			1	1		○		
	医科学における心と倫理 *			1	1		○		
選択科目	行動科学	【社会】	5科目から2単位以上	1	1	○			
	高齢期の健康生活と医学研究 *			2	2	○			
	生活機能の障害と医療・福祉 *			2	2	○			
	疫学 *	【疫学】	6科目から2単位以上	1	2	○			
	環境疫学			1	1	○			
	臨床疫学・薬剤疫学			1	1	○			
	疫学研究デザインと研究費申請			1	1	○			
	フィールド調査:理論と実践			1	2	①	①		
	メディカルデータマイニング			1	2	①	①		
	情報医科学のための数理統計学Ⅰ	【生物】	3科目から2単位以上	1	2	①	①		
	情報医科学のための数理統計学Ⅱ			1	2	①	①		
	疫学研究のための統計学			1	2	①	①		
	災害公衆衛生入門	【医療】	10科目から2単位以上	1	1	○			
	地域医療学入門			1	1	○			
	国際保健学入門			1	1	○			
	医療管理 *			1	2	○			
	医療政策・医療経済学 *			1	2	○			
	応用医療情報システム学 *			1	2	①	①		
	マネジメント入門			1	2	①	①		
	病院経営学講義			1	2	○			
	病院経営学演習			1	2		○		
病院経営学実習	1			2				○	
環境保健学	【環境】	6科目から2単位以上	1	2	○				
環境科学測定			1	1	○				
産業保健学Ⅰ			1	2	①	①			
産業保健学Ⅱ			1	2	①	①			
産業保健実践			1	1	○				
生命環境学入門 *			1	2	○				

表中の領域略称は、公衆衛生学における以下の5領域区分を示す。

【社会】:社会医学・医倫理学・行動科学領域 【疫学】:疫学領域 【生物】:生物統計学領域

【医療】:医療管理学・医療政策学・医療経済学領域 【環境】:環境保健学領域

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。 ※科目名の * は開放科目を示す。

公衆衛生学コース(1年コース)

科目区分	授業科目の名称	領域略称	修得条件	配当年次	単位数		授業形態		
					必修	選択	講義	演習	実習
必修科目	医学英語		必修	1	1		○		
	医科学特別研究(研究計画立案)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(実験・調査)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(ゼミナール)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(論文作成・課題研究)		必修	1	2			○	
	医科学特別研究(研究発表)		必修	1	2			○	
	医科学総論		必修	1	5		○		
	社会・環境と医学(社会医学) *	【社会】	5科目から	1	1		○		
	医科学における心と倫理 *		2単位以上	1	1		○		
選択科目	行動科学	【社会】	5科目から 2単位以上	1		1	○		
	高齢期の健康生活と医学研究 *			1		2	○		
	生活機能の障害と医療・福祉 *			1		2	○		
	疫学 *	【疫学】	6科目から 2単位以上	1		2	○		
	環境疫学			1		1	○		
	臨床疫学・薬剤疫学			1		1	○		
	疫学研究デザインと研究費申請			1		1	○		
	フィールド調査:理論と実践			1		2	①	①	
	メディカルデータマイニング			1		2	①	①	
	情報医科学のための数理統計学Ⅰ	【生物】	3科目から 2単位以上	1		2	①	①	
	情報医科学のための数理統計学Ⅱ			1		2	①	①	
	疫学研究のための統計学			1		2	①	①	
	災害公衆衛生入門	【医療】	10科目から 2単位以上	1		1	○		
	地域医療学入門			1		1	○		
	国際保健学入門			1		1	○		
	医療管理*			1		2	○		
	医療政策・医療経済学*			1		2	○		
	応用医療情報システム学 *			1		2	①	①	
	マネジメント入門			1		2	①	①	
	病院経営学講義			1		2	○		
	病院経営学演習			1		2		○	
病院経営学実習	1		2			○			
環境保健学	【環境】	6科目から 2単位以上	1		2	○			
環境科学測定			1		1	○			
産業保健学Ⅰ			1		2	①	①		
産業保健学Ⅱ			1		2	①	①		
産業保健実践			1		1	○			
生命環境学入門 *			1		2	○			

表中の領域略称は、公衆衛生学における以下の5領域区分を示す。

【社会】:社会医学・医倫理学・行動科学領域 【疫学】:疫学領域 【生物】:生物統計学領域

【医療】:医療管理学・医療政策学・医療経済学領域 【環境】:環境保健学領域

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。 ※科目名の * は開放科目を示す。

ヘルスケアイノベーションコース

科目 区分	授業科目の名称	修得 条件	配当 年次	単位数		授業形態			
				必修	選択	講義	演習	実習	
専攻共通科目	医科学基礎科目	医学英語	必修	1	1		○		
		研究者と診療の科学(臨床医学概論) *	必修	1	2		○		
		人体の構造と発生(人体形態学) *	必修	1	1		○		
		人体の正常の生命過程(人体機能学) *	必修	1	1		○		
		疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理病態学) *	必修	1	1		○		
		社会・環境と医学(社会医学) *	必修	1	1		○		
	医科学における心と倫理 *	必修	1	1		○			
	特別研究科目	医科学特別研究(研究計画立案)	必修	1・2	2			○	
		医科学特別研究(実験・調査)	必修	1・2	2			○	
		医科学特別研究(ゼミナール)	必修	1・2	2			○	
医科学特別研究(論文作成・課題研究)		必修	1・2	2			○		
コース別科目	基礎科目	医用工学	必修	1	1		○		
		医療統計学・データマイニング	必修	1	1		○	○	
	医工学科目	医用システムデザイン工学	必修	1	1		○		
		イノベーション・レギュラトリーサイエンス	必修	1	1		○		
		医用画像工学・人工知能	必修	1	1		○	○	
		アントレプレナーシップ	必修	1	1		○	○	
	応用関連科目	組織行動マネジメント・リーダーシップ	必修	1	1			○	
		ロジカルシンキング・デザインシンキング	必修	1	1		○	○	
		リスクマネジメント・クライシスマネジメント	必修	1	1		○		
		地域社会レジリエンス・地域医療エンパワメント	必修	1	1		○		
		医療政策・医療経済学 *		1		2	○		
		フィールド調査:理論と実践	5科目 から 2単位 以上	1		2	○	○	
		病院経営学講義		1		2	○		
	病院経営学演習	1			2		○		
高齢期の健康生活と医学研究 *	2			2	○				

※授業形態の○内の数字は、単位数の内訳を示す。 ※科目名の * は開放科目を示す。

講義等の内容

【医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース 共通科目】

		必修科目
授業科目名		講義等の内容
医科学コース・公衆衛生学コース・ヘルスケアイノベーションコース 共通科目	医学英語	医科学に必要な基本的で実際の英語運用力を修得します。
	医科学特別研究(研究計画立案)	個別のテーマに関する論文指導ではなく研究を遂行するための一般的能力育成を目指す内容を主体とする。
	医科学特別研究(実験・調査)	
	医科学特別研究(ゼミナール)	
	医科学特別研究(論文作成)	
	医科学特別研究(研究発表)	
	*研究者と診療の科学(臨床医学概論)	
	*人体の構造と発生(人体形態学)	人体を構成する細胞の形態及び細胞からなる上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織について学習し、人体の基本的構造について理解を深めます。
	*人体の正常の生命過程(人体機能学)	循環、呼吸といった生命維持に不可欠な機能がどのように巧みに調節され、全体として恒常性が保たれているのかについて学びます。個体はこのような基本的な生命活動を保ちつつ、一方では外界の状況をいかに的確に認識し、それに応じて目的にかなった運動を形成し、制御しているのかについて理解します。さらに、このような学習を通して機能統合の考え方や系統的な科学的思考方法を習得します。
	*疾患の原因・成立機序・病態と転帰(病理病態学)	炎症、腫瘍、循環障害や物質代謝障害による疾患及び進行性病変などについて、その原因、成立機序、病態や転帰を病理形態学を基盤として学びます。また、ヒトゲノムプロジェクトによって得られた網羅的遺伝子情報と医療との関わりについて学習します。
*社会・環境と医学(社会医学)	人間の健康に影響を持つさまざまな環境要因と健康障害防止のための社会的方策、また、健康問題に関連する法律上の課題とその対応について、事例を通して学習します。併せて、環境要因による健康影響の解明や効果的な方策検討のための研究方法について、概要を学びます。	
*医科学における心と倫理	生命の尊厳を尊重した医科学研究を行うために、心と倫理を検討する方法を学びます。患者の心理、心情を理解し、さまざまな観点から、医療倫理、生命倫理を尊重し実践できる態度を身に付けます。	

【公衆衛生学コース(1年コース)】

		必修科目
授業科目名		講義等の内容
公衆衛生学コース (1年コース)	医学英語	医科学に必要な基本的で実際の英語運用力を修得します。
	医科学特別研究(研究計画立案)	個別のテーマに関する論文指導ではなく研究を遂行するための一般的能力育成を目指す内容を主体とする。
	医科学特別研究(実験・調査)	
	医科学特別研究(ゼミナール)	
	医科学特別研究(論文作成)	
	医科学特別研究(研究発表)	
	医科学総論	
	*社会・環境と医学(社会医学)	人間の健康に影響を持つさまざまな環境要因と健康障害防止のための社会的方策、また、健康問題に関連する法律上の課題とその対応について、事例を通して学習します。併せて、環境要因による健康影響の解明や効果的な方策検討のための研究方法について、概要を学びます。
	*医科学における心と倫理	生命の尊厳を尊重した医科学研究を行うために、心と倫理を検討する方法を学びます。患者の心理、心情を理解し、さまざまな観点から、医療倫理、生命倫理を尊重し実践できる態度を身に付けます。

*は、開放科目(他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目)を示す。

【医科学コース 専門科目】

選択科目	
授業科目名	講義等の内容
分子から見た医学と医療	タンパク質、核酸など主要な生体構成機能分子、遺伝子発現調節やシグナル伝達の基本的事項、生体構成機能分子や遺伝子発現の異常と病気との関連、遺伝学や遺伝子工学の基本的事項について学習します。
生体防御のしくみ	生体には、外から侵入する異物の他、体内に生じる、変調を来たした細胞を見つけて除くしくみが備わっている。後者には、古くなった細胞やウイルス感染細胞、腫瘍細胞などが含まれる。この科目では、ウイルスや細菌の感染様式や、それらに対する防御反応について学び、レポートを提出します。 また、免疫学の基礎を、週に1回計12回程度集まって勉強します。概要の講義を受けた後、細胞性免疫を中心に教科書や英文レビュー誌を輪読し、ディスカッションを交わして理解を深めます。後半には、がん免疫に関する原著論文を読み、研究の方法や材料、未知の問題へのアプローチのしかたを勉強します。
循環から見た医学と医療	基礎循環器学と臨床循環器病学のつながりを学ぶことを通して、医学と医療の関係について考え、臨床研究のあり方を考察できるよう学習します。
腫瘍の発生・増殖と制御	腫瘍、特に悪性腫瘍は、現在もヒト死因の第1位であり、種類も多岐に亘るが、それらの病態を詳細に知ることは非常に重要である。医学の目覚ましい進歩により殆どの腫瘍において遺伝子異常の存在が示唆されており、ヒトの染色体に組み込まれている3~5万とされる遺伝子についての機能解析や発現異常の研究が進行中である。現在までに100種類以上の癌遺伝子、10数種類の癌抑制遺伝子が発見されている。従って、腫瘍は遺伝子病であると定義できる。これらのことを踏まえ、良性・悪性を含む腫瘍の理解の為には、腫瘍の原因と関連づけた発生、増殖、進展、浸潤、転移の各過程についての知見のみならず、更に診断・治療・予後に関する知識を教授します。
神経の科学	脳神経系は複雑であるが精緻に組み上げられた構造を持ち、多様であるが合目的な機能を発揮しています。脳神経系の構造と機能を具体例に基づいて理解し、構造と機能が相互に強く結びついて脳神経系が成り立っていることを学修します。
誕生・発育と加齢の科学	疾患は個体全体の病態として出現するにもかかわらず、近年の医学は専門細分化し、一連の生命現象の流れの中で全体像を把握することが困難になりつつある。そこで、個体の発生、発育、老化の現象を細胞、臓器、疾患、個体、社会の各レベルからのアプローチの方法を学びます。
病理・法医学見学実習	病理及び法医学解剖の見学実習により、ヒトの生死の尊厳さと人体の精緻な構造を理解させ、病死や異状死の際の変化、医療や生活史及び法との関連を学習します。
臨床実習	医科学の進歩が実際の臨床現場でどのように貢献しているかを教授し、医療の担い手である医師と医療を受ける患者さんが相互に信頼関係を保ちつつ診療が行われているのかを体験して、医療のあるべき姿を学習します。
臨床感染症学	感染症の診断および治療、感染制御に必要とされる感染症診断学、感染症治療学、薬物動態学、薬理学、臨床微生物学、臨床感染免疫学、感染制御学の基礎知識および新しい知見について学習します。
診断と治療選択	医師とクライアントとの関係は、父子型の治療選択が行われる時代から成人対成人型の情報共有に基づく治療選択が行われる時代へ変化している。新しい時代の医師患者関係を理解した研究者になるために、診断・治療の方法論と、医療決断のために必要なリスク、加味されるべき心理的・社会的要因を評価する方法を修得します。
再生・機能回復医学	再生医療、臓器移植、人工臓器による機能再建術の開発の歴史と現状について学びます。
資源と生命	天然資源、特に生薬・海洋生物由来物質などの生物資源の利用分野、特に医学・医療への応用とその有用性、天然資源から創出した新規医用材料についての研究方法を学習させる。さらに、臨床の場において汎用されている薬物とその作用機序を学びます。
ケミカルバイオロジー解析による基礎医学	研究に必要な基礎学力と課題探求能力を習得する。学研究法(課題調査、仮設定定、実験計画・実施、考察、論文作成、発表・討論)の基本を総合的に習得する。

医科学コース専門科目

選択科目	
授業科目名	講義等の内容
環境保健学	<p>環境保健学は環境因子による健康影響を研究する学問です。産業革命以降発生した公害などの問題は先進国の国民に影響を与えてきました。環境汚染の多くは制御され、現在はより高感度の測定法によって低濃度の環境影響を調べる時代を迎えています。遺伝環境連関についてもこの環境保健学で取り扱います。</p> <p>Environmental Health seeks the health effect of interaction between human and environmental factors. Industrial revolution caused severe problem called public nuisance and affected a lot of people in developed countries. Though severe pollutions had been controlled, adverse effects of environmental factors are now investigated with highly developed techniques. Interaction between genetics and environmental factors is also a topic in this field.</p>
環境科学測定	<p>産業環境医学における環境因子の測定方法について議論します。作業環境測定、生物学的モニタリング、粉じん、ガス、金属等、有機溶剤の化学物質の測定、及び、音、振動、電離放射線、光など物理的要因の測定などを含みます。</p> <p>Measurement techniques used in Occupational and environmental medicine will be discussed:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Work Environment Measurement 2 Biological Monitoring 3 Dust 4 Gases 5 Metal and Occupational diseases, 6 Organic Solvent, 7 Noise, Vibration and ionizing radiation, ambient light
産業保健学 I	<p>産業中毒学の基本事項について学びます。職場における産業中毒の要因とともに、臓器別に見た産業中毒の影響を考えます。</p> <p>Basic topics about occupational toxicology, will be covered in this class. Toxic effect of various agents found in workplaces will be reviewed systematically throughout the organs.</p>
産業保健学 II	<p>産業現場における健康影響の制御にはリスクアセスメントが必須です。職場における中毒学的なリスクアセスメントとリスクコントロールの手法について学びます。毒性学的な実験的研究についても学びます。</p> <p>Risk assessment is essential to control health hazard in workplaces and general environment. Methods for Toxicological assessment and risk control using those data will be also discussed. Students will participate to the toxicologic experiments using various methods.</p>
産業保健実践	<p>産業保健の実際について、実務の内容にそって学びます。</p> <p>Lecture covers practice of occupational medicine</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Introduction of Occupational and Environmental Health, 2 Industrial Hygiene and Technological Intervention, 3 Medical Care for workers, 4 Occupational Lung Disease, 5 Metal and Occupational diseases, 6 Organic Solvent, 7 Occupational Cancer, 8 Noise, Vibration and ionizing radiation, 9 Mental Health Problems
*疫学	<p>医療のロジックと言われる疫学について、基本的な概念と技能を健康情報の活用における情報収集、統計処理、解析とその活用方法、さらに情報処理システムや活用の現状について、専門的知識及び技能を修得します。また、高知大学医学部の医療情報処理システムによる情報処理の現状と活用例を併せて学習します。</p>

選択科目		
授業科目名	講義等の内容	
医科学 コース 専門 科目	*医療政策・医療経済学	近年、根拠に基づく健康政策(Evidence Based health-Policy)の必要性が認識されるようになりました。このEBHPは、国、自治体レベルだけでなく、さまざまな社会・集団における健康問題の対応、さらには医療関連分野の諸施設の運営にも活用されています。さらに、政策の運用にあたっては、経済的な効率や医療倫理への配慮も求められています。本科目では、政策決定で必要となるニーズ評価・対策の計画・効果の評価、医療の法体系などについて、基本的知識と技能を、事例を通して学習します。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察します。
	*高齢期の健康生活と医学研究	高齢期の精神障害、認知症の原因となる様々な病態を症候学的、神経画像学的に理解します。また治療法、社会生活における障害の容態を理解する。その上でアンメッドメディカルニーズを理解します。このアンメッドメディカルニーズを克服するための研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
	*生活機能の障害と医療・福祉	精神障害、発達障害の様々な病態を症候学的、神経生理学的に理解します。また、社会生活における障害の容態を理解し、その上で、生活機能の障害に対する治療や支援の方法、医療制度や福祉制度を理解します。この生活機能の障害を対象とする研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
	*医療管理	医療関連施設、特に病院における、合理的・科学的な運用管理能力を身につけるため、関係法規、医療経済、医療資源の組織と機能をについて学習します。 また、病院内の運営管理、さらに院内感染を含めた安全管理を行う能力を身につけるため、附属病院における実際の活動を通じて学びます。
	*海洋生物資源による免疫応答調節	免疫応答の調節を司る細胞や分子について解説し、その相互作用に影響を与える海洋生物資源、特に多糖体の免疫応答の調節について概説します。
	*生命環境学入門	環境因子による人間を含む生命への影響は、遺伝的要因と比較しても、大きいことが知られています。環境因子による健康問題は環境保健として予防医学の重要な一分野として取り扱われています。環境因子の制御に関わる様々な専門家による双方向的講義を通して生命と環境との関係を学びます。

*は、開放科目(他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目)を示す。

【公衆衛生学コース・公衆衛生学コース(1年コース) 専門科目】

選択科目	
授業科目名	講義等の内容
行動科学	人間の行動を科学的に理解し、健康の維持、増進のための視点を学習します。
*高齢期の健康生活と医学研究	高齢期の精神障害、認知症の原因となる様々な病態を症候学的、神経画像学的に理解します。また治療法、社会生活における障害の容態を理解する。その上でアンメッドメディカルニーズを理解します。このアンメッドメディカルニーズを克服するための研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
*生活機能の障害と医療・福祉	精神障害、発達障害の様々な病態を症候学的、神経生理学的に理解します。また、社会生活における障害の容態を理解し、その上で、生活機能の障害に対する治療や支援の方法、医療制度や福祉制度を理解します。この生活機能の障害を対象とする研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。
*疫学	医療のロジックと言われる疫学について、基本的な概念と技能を健康情報の活用における情報収集、統計処理、解析とその活用方法、さらに情報処理システムや活用の現状について、専門的知識及び技能を修得します。また、高知大学医学部の医療情報処理システムによる情報処理の現状と活用例を併せて学習します。
環境疫学	環境疫学の実例として、日本で行われている環境省の子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)を取り上げます。この調査は10万人規模の出生コホートで環境因子が子どもにどのような健康影響を与えるかをテーマに、先天異常、精神神経発達、免疫アレルギー、内分泌、妊孕性について検討を行う予定です。
臨床疫学・薬剤疫学	Clinical Epidemiology is a tool for assessment of new diagnostic measures or effect of new treatment in clinical researches. Understanding such a tool is one of essential skills for researchers involved in clinical researches. This class will provide basic topics of fundamentals of clinical epidemiology, including designing clinical trials and Medical ethics.
疫学研究デザインと研究費申請	人間集団を対象とした研究の研究費申請の際に、疫学研究の構造を知っておくことは重要です。研究費申請についての具体的な方法も学びます。 Understanding the structure of epidemiologic studies is important when applying for a Grant.
フィールド調査：理論と実践	地域においての問題解決には現状把握が重要であり、疫学調査を含めた地域診断はそのツールとして地域の現状把握に有効である。フィールド調査における基本的な理論と共に、質問紙作成、実施などの具体的な調査理論を学び、地域において現状把握、課題解決の提言に繋げる。具体的なフィールド調査の企画立案を行い、調査実施時の注意点を学ぶ。
メディカルデータマイニング	様々なデータ解析手法を大量のデータに網羅的に適用することで知識を取り出す技術であるデータマイニングによって、膨大なデータの蓄積から通常のデータの扱い方からは想像が及びにくい発見的な知識獲得が可能であると期待されている。この手法を学び、医学・医療データに適用する能力を身につけます。
情報医科学のための数理統計学 I	事象と確率、確率変数と確率分布、仮説検定、信頼区間と検出力、分散分析、多重比較検定、ノンパラメトリクス統計、回帰分析、統計解析前のデータ処理などのテーマにつき数理統計学的な基礎を学び、R言語を用いた演習によって、実際の課題を解決する能力を身につけます。
情報医科学のための数理統計学 II	最尤推定法、ロジスティック回帰、生存曲線、COXの比例ハザード分析、Bayes統計、計算機統計学、などのテーマにつき学び、実際の課題を解決する能力を身につけるための演習を行います。演習はR言語を用いて行います。

公衆衛生学コース専門科目

選択科目	
授業科目名	講義等の内容
疫学研究のための統計学	疫学を用いる医学研究の論文作成時に必要となる統計解析を、Stata(ないしEZR)を用いて学ぶ。理論よりも実際の研究の流れに従って、データの要約、群間比較、多変量解析について習得します。加えて、解析結果を表にまとめるノウハウと結果の解釈の仕方についても学習します。これらを通じて、統計学者と共通言語を使って対話できる能力を身に付けることを目指します。
災害公衆衛生入門	災害時の対応は緊急援助的なDMATによる医学的対応は当然必要とされるが、被災地住民は様々な健康状態にあり、それらに対応するには、災害公衆衛生(Disaster Public Health)という考え方が必要となる。東日本大地震を経験した地域において、災害医療の効果的な公衆衛生組織の活用が十分になされなかったとの反省から近年、必要性が認識されるようになった。災害時における医療の展開には、公衆衛生で使われてきた集団に対するアプローチの殆どが当然必要であり、行政職員も不眠不休の活動を行ったにもかかわらず、十分な評価は得られなかった。今回は、阪神大震災以降のDMATなどの訓練、準備が整っていた災害救急医療との違いが現れてしまったのは、自治体自体が被災したということに加えて、災害公衆衛生としての整理や準備が十分なされていなかったことの反映であろう。防災、減災という取り組みとともに、南海地震に対しての備えとして、災害医療を総合的に支える災害公衆衛生という観点での再構築と業種、専門分野を超えたネットワーク作りが必要とされている。
地域医療学入門	各学生に地域医療の課題をテーマとして与え、講義と並行しながら、必要な情報をまとめ、その解決策を検討する自己学習をおこないます。週2時間程度の自己学習を要する。最終的には、全学生がそれぞれのテーマについてプレゼンテーションを行うこととします。
国際保健学入門	International Health is public health without the border. Actually public health in Japan itself is also among the International health. Basic framework of international health will be reviewed, which is similar to public health. Experts in this field will share their experience in emerging countries and developing countries in special lectures.
*医療管理	医療関連施設、特に病院における、合理的・科学的な運用管理能力を身につけるため、関係法規、医療経済、医療資源の組織と機能について学習します。また、病院内の運営管理、さらに院内感染を含めた安全管理を行う能力を身につけるため、附属病院における実際の活動を通じて学びます。
*医療政策・医療経済学	近年、根拠に基づく健康政策(Evidence Based health-Policy)の必要性が認識されるようになった。このEBHPは、国、自治体レベルだけでなく、さまざまな社会・集団における健康問題の対応、さらには医療関連分野の諸施設の運営にも活用されている。さらに、政策の運用にあたっては、経済的な効率や医療倫理への配慮も求められている。本科目では、政策決定で必要となるニーズ評価・対策の計画・効果の評価、医療の法体系などについて、基本的知識と技能を、事例を通して学習します。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察します。
*応用医療情報システム学	現在の病院業務を支える病院情報システムや複数の医療機関をコンピュータネットワークで連携する遠隔医療連携システム、それらのシステムの心臓部ともいえるデータベースシステム、それらのシステムのデータを横断的に活用するためのデータウェアハウスについて理解するとともに、演習を通じてそれらの実際についても理解します。
マネジメント入門	経営学で必要な科目のうち、財務会計、戦略、マーケティング、組織行動を中心に講義を行います。MBA教育で使われる教科書を活用し、組織運営のための基礎力をつけます。 病院経営学講義/演習の授業に必要な経営学の基礎知識の習得を目標とします。 ※履修には一定の条件があります。
病院経営学講義	病院経営に必要な経営戦略、経営組織、財務・管理会計、リスクマネジメント等の基礎知識を獲得します。 ※履修には一定の条件があります。

選択科目		
授業科目名	講義等の内容	
公衆衛生学コース専門科目	病院経営学演習	医療経営を、ケース（事例）を通じて議論しながら学ぶ「ケースディスカッション」授業を実施します。具体的な経営事例を通じて絶対解ではなく関係者の納得解を創出するプロセスを経験します。レクチャーのような座学ではなく、答えのない問いに対する「考える力」が要求され、受講生の積極的な参加が要求されます。授業内容は受講生のレベルに応じて変更することがあります。 ※履修には一定の条件があります。
	病院経営学実習	現場（自施設）での実践実習を通して、課題を解決する能力を養います。 ※履修には一定の条件があります。
	環境保健学	Environmental Health seeks the health effect of interaction between human and environmental factors. Industrial revolution caused severe problem called public nuisance and affected a lot of people in developed countries. As Japan went through rapid industrial development in shorter period than in Western countries, Japan had experience variety of environmental pollutions. Though severe pollutions had been controlled, adverse effects of environmental factors are now investigated with highly developed techniques. Interaction between genetics and environmental factors is also a topic in this field.
	環境科学測定	Occupational and Environmental Health is science and practice concerning prevention, recognition and management of workers' disease caused by occupational and environmental hazard.
	産業保健学Ⅰ	産業中毒学の基本事項について学びます。職場における産業中毒の要因とともに、臓器別に見た産業中毒の影響を考えます。 Basic topics about occupational toxicology, will be covered in this class. Toxic effect of various agents found in workplaces will be reviewed systematically throughout the organs.
	産業保健学Ⅱ	産業現場における健康影響の制御にはリスクアセスメントが必須です。職場における中毒学的なリスクアセスメントとリスクコントロールの手法について学びます。毒性学的な実験的研究についても学びます。 Risk assessment is essential to control health hazard in workplaces and general environment. Methods for Toxicological assessment and risk control using those data will be also discussed. Students will participate to the toxicologic experiments using various methods.
	産業保健実践	Occupational Health Practice covers hazard identification and risk control in workplaces. Main focus of the practice is prevention, recognition and management of workers' disease caused by occupational and environmental hazard.
	*生命環境学入門	環境因子による人間を含む生命への影響は、遺伝的要因と比較しても、大きいことが知られており、環境因子による健康問題を特に環境医学・環境保健として公衆衛生学の重要な一分野として取り組んできている。環境因子の制御には、様々な専門家が異なるフィールドで取り組んでおり、一般環境中の環境物質のコントロールがなされなければ、一般住民の健康に影響をもたらす。また、一般環境中の環境化学物質は、結局、人間の産業活動によってもたらされたものであることが殆どであり、環境医学・環境保健の特殊形態である産業保健に大きく関わっている。

*は、開放科目（他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目）を示す。

【ヘルスケアイノベーションコース専門科目】

授業科目名		講義等の内容
ヘルスケアイノベーションコース科目	医用工学	イノベーションで用いる可能性が高い工学的な考え方や手法の基礎を、工学が専門の先生方から学び、それぞれがヘルスケアとどう関連しているかについて、セッションで紐づけします。なかでも、電気工学、電子工学、機械工学は、医療と特に関わりが深い領域です。それに続き、臨床現場で用いる医療機器を題材として、その役割、pitfallについて理解を深めます。後者は、インシデントにも関連します。
	医療統計学・データマイニング	統計学的手法は、どの領域でも有効性の検討などに用いられる基礎で、それを必要に応じて使えるようになります。さまざまな情報がデジタルで天文学的な量として保存されるこれからの時代、その中から貴重な情報を得るために必要なデータマイニング、ビッグデータ解析について学びます。また、統計学的手法を使う深層学習、そしてその人工知能への応用について、どのようなことに使うことができ、逆に限界とは何かを理解しておくことが大切です。
	医用システムデザイン工学	医療技術の進歩とともに、その形態も従来とは大きく変化し情報は電子カルテに収める形となっている。病院機能にとって神経系にあたる情報ネットワークは、病院機能の効率化、向上のみならずトラブルの火種にもなる。特に、地域医療との関連、災害時の対処などでは、医療技術部の果たすべき役割も大きくなり、それを総括する立場としては知っておかなければならない。これらを得るのがこの科目の役割である。
	イノベーション・レギュラトリーサイエンス	コース名称にもある「イノベーション」を起こすための能力を基礎から学んでいきます。インスピレーションを引き出すための思考法、コツとしての「アート」の重要性にも触れ、イノベーションを取り巻く国の政策、世界で展開されているデジタル化や人工知能の医療への活用の事例を学びます。一方、創出したものを役立てる際に必要となる規制や知的財産についての正しい知識を学びます。
	医用画像工学・人工知能	近年、コンピュータの性能向上により格段に進歩しつつある医用画像工学の基礎知識を学び、合わせて画像診断に用いる機器、画像情報から得られるラジオミックス、テクスチャ解析を学習するとともに、画像解析、診断に導入されつつある人工知能の基礎を習得し、深層学習の演習を行う。
	アントレプレナーシップ	ベンチャー企業を立ち上げる(起業)ことを目指している人にとっては、貴重な科目となるだろう。実際に起業された講師やその支援をしておられる方を講師に招き、一方でマーケティングの視点から起業を見つめることも学ぶ。
	組織行動マネジメント・リーダーシップ	組織のヘルスケアについて考え、イノベーションを創出していく上で、組織マネジメントやリーダーシップについての理解は不可欠である。現在どのように組織が管理されているか、またリーダーは何を考え、どのように物事を決定していくのか、といったことについて、また人を動かすためにはどのような心理的なアクションや考え方が必要となるか、といった点について学ぶ。
	ロジカルシンキング・ラテラルシンキング	課題解決に貢献できるイノベーションを加速する「思考法」に焦点を当てる。医と工で異なる考え方(帰納法と演繹法)を論理的思考で繋ぐ人材の育成を目的とする。ロジカルシンキングが考えたり伝えたりするプロセスで論理的な明快さを担保するのに対し、デザインシンキングは人を中心として熱意を持ってイノベーションを実現しようとする問題解決プロセスである。これらの思考法を実習を通して習得する。
	リスクマネジメント・クライシスマネジメント	組織、社会のいずれも想定外のトラブルに遭遇することが稀ではなくなっている。今後、これらのある程度想定内を含め、万が一それらが起こったときでも被害を最小限にすることが、組織や社会のヘルスケアにとって大切となる。その意味で、この科目ではさまざまな視点でリスク・クライシスマネジメントに携わっている講師の先生方から講義をいただく。
地域社会レジリエンス・地域医療エンパワメント	地域の過疎、地域医療の課題など、高知県では他県に先んじてさまざまな問題に直面している。このような課題の実状をまず知ることによって、そこに役立つ方策などを創出していくための工夫、技術活用などについて理解を含めるとともに、これまでの事例から将来に向けての自分たちの役割を考えていく。	

授業科目名		講義等の内容
ヘルスケアイノベーションコース科目	医療政策・医療経済学	近年、根拠に基づく健康政策(Evidence Based health-Policy)の必要性が認識されるようになった。このEBHPは、国、自治体レベルだけでなく、さまざまな社会・集団における健康問題の対応、さらには医療関連分野の諸施設の運営にも活用されている。さらに、政策の運用にあたっては、経済的な効率や医療倫理への配慮も求められている。本科目では、政策決定で必要となるニーズ評価・対策の計画・効果の評価、医療の法体系などについて、基本的知識と技能を、事例を通して学習します。事例には、国内での地域保健医療や海外の医療政策に関する近年の課題を取り上げ、その背景と動向についても考察します。
	フィールド調査:理論と実践	地域においての問題解決には現状把握が重要であり、疫学調査を含めた地域診断はそのツールとして地域の現状把握に有効である。フィールド調査における基本的な理論と共に、質問紙作成、実施などの具体的な調査理論を学び、地域において現状把握、課題解決の提言に繋げる。具体的なフィールド調査の企画立案を行い、調査実施時の注意点を学ぶ。
	病院経営学講義	病院経営に必要な経営戦略、経営組織、財務・管理会計、リスクマネジメント等の基礎知識を獲得します。 ※履修には一定の条件があります。
	病院経営学演習	医療経営を、ケース(事例)を通じて議論しながら学ぶ「ケースディスカッション」授業を実施します。具体的な経営事例を通じて絶対解ではなく関係者の納得解を創出するプロセスを経験します。レクチャーのような座学ではなく、答えのない問いに対する「考える力」が要求され、受講生の積極的な参加が要求されます。授業内容は受講生のレベルに応じて変更することがあります。 ※履修には一定の条件があります。
	*高齢期の健康生活と医学研究	高齢期の精神障害、認知症の原因となる様々な病態を症候学的、神経画像学的に理解します。また治療法、社会生活における障害の容態を理解する。その上でアンメッドメディカルニーズを理解します。このアンメッドメディカルニーズを克服するための研究についてディスカッションするが、その際には、過去に発表された英文論文を参考にします。

*は、開放科目（他専攻学生の履修を認める科目として予め指定した科目）を示す。

試験場案内 Access to Oko Campus

試験場：高知大学岡豊キャンパス(南国市岡豊町小蓮)

Examination Center: Oko Campus (Kohasu, Oko-cho, Nankoku-shi)

[交通アクセス] Access (Information)

① JRで来られる方へ From JR station

JR 高知駅 JR Kochi Station	とさでん交通バス <small>(領石、南国オフィスパーク、医大病院 行きに乗車)</small> 医大病院下車【時間約25分】▶ About 25 minutes by bus (Tosaden bus: Take a bus to Ryoseki, Nankoku Office Park, or Medical School Hospital, and get off at Medical School Hospital). タクシー【時間約20分】▶ About 20 minutes by taxi.	高知大学 医学部 (岡豊キャンパス) Medical School (Oko Campus)
JR 後免駅 JR Gomen Station	タクシー【時間約10分】▶ About 10 minutes by taxi.	

② 高知市内よりバスで来られる方へ From Kochi-city

北はりまや橋 Kita- harimayabashi bus stop	とさでん交通バス <small>(領石、南国オフィスパーク、医大病院 行きに乗車)</small> 医大病院下車【時間約30分】▶ About 30 minutes by bus (Tosaden bus: Take a bus to Ryoseki, Nankoku Office Park, or Medical School Hospital, and get off at Medical School Hospital). タクシー【時間約25分】▶ About 25 minutes by taxi.
--	--

③ 航空機で来られる方へ From Kochi Airport

高知龍馬 空 港 Kochi Ryoma Airport	空港連絡バス【時間約40分】▶ About 40 minutes by limousine bus.	JR Kochi Station	(あと①に同じ) Follow ①
	空港連絡バス【時間約35分】▶ About 35 minutes by limousine bus.	Kita- harimayabashi	(あと②に同じ) Follow ②
	タクシー【時間約30分】▶ About 30 minutes by taxi.		

※発着時刻・料金は、時刻表などでご確認ください。

各キャンパス

案内図

Kochi Medical School (Okko Campus)

